

関西医科大学 広報



応募作品全65点の中から選ばれた入選作品です(撮影:清水 謙太 附属病院管理課広報係(所属は当時))。

Vol.46

創立90周年記念フォトコンテスト 入選作品「歩」

速報!!



2020年
 ・世界大学ランキング 600位内
 ・国内大学 14位(私立大学4位)
 ・関西の大学 3位(京大、阪大、関西医大)

CONTENTS

法人：北河内メディカルネットワーク認可 P.1

法人：リカレントスクール入校式 P.2

大学：平成31年度Student Doctor認証式 P.6

大学：研究費助成事業交付内定者一覧他 P.11

病院：歯科・口腔外科拡大、アレルギーセンター外来開設 P.23

附属看護専門学校：戴帽式 P.24

地域医療連携推進法人「北河内メディカルネットワーク」設立

6月12日(水)に本学が主導して設立した大阪府内で初となる地域医療連携推進法人「北河内メディカルネットワーク(略称「KMN」)」が大阪府の認定を受けました。

地域医療連携推進法人は、2017年4月の医療法改正に伴い創設された制度で、「競争から協調への転換」という観点から医療機関相互の機能分担や業務連携を推進し、地域において質の高い効率的な医療を提供することを目的としています。本学はこの制度を活用してより良い医療・介護サービスを提供するため、北河内医療圏で医療機関等を経営する法人・個人に参加を呼びかけ、今回の認定を実現しました。

KMNは今後、法人内で医療・介護の共同研修や情報共有などの相互連携を行います。本学が90年以上に渡っ

て磨いてきた教育指導プログラムや医療安全・感染対策のノウハウを法人内で共有し、将来的には医薬品・診療材料の共同購入調整を検討するなど医療・介護の効率化を図り、急性期～回復期～療養期・慢性期の医療のみならず介護サービスの質の向上に努め、地域全体の健康と長寿を支えます。



地域医療連携推進法人

北河内メディカルネットワーク

◆北河内メディカルネットワークロゴマーク

淀川を表すブルーと、生駒山を表す緑で自然豊かな北河内の環境を表現。重なり合い、天地左右に伸びる2つのオブジェクトは、KMNの相互連携による地域包括ケアシステムのつながりと広がりを見せています。

法人概要

名 称	地域医療連携推進法人 北河内メディカルネットワーク
略 称	KMN (「Kitakawachi Medical Network」の頭文字)
所 在 地	大阪府枚方市新町2-5-1
認 可 日	2019年6月12日(水)
活 動 区 域	大阪府北河内医療圏(枚方市、守口市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市)
役 員	代表理事：山下 敏夫(学校法人関西医科大学 理事長) 理 事：小林 卓(社会医療法人山弘会 理事長) 板垣 通孝(医療法人河北会 理事長) 吉田 和正(医療法人毅峰会 副理事長) 津田 信幸(医療法人和敬会 寝屋川南病院 病院長) 監 事：宮崎 悦子(医療法人道仁会 理事長) 亀廣 摩弥(医療法人亀廣記念医学会 理事長)
社 員	学校法人関西医科大学(附属病院、総合医療センター、香里病院、くずは病院)、 社会医療法人山弘会(上山病院)、医療法人河北会(河北病院)、 医療法人亀廣記念医学会(関西記念病院)、医療法人(社団)有恵会(香里ヶ丘有恵会病院)、 医療法人中屋覚志会(津田病院)、医療法人清水会(鶴見緑地病院)、 医療法人道仁会(道仁病院)、医療法人和敬会(寝屋川南病院)、 医療法人りんどう会(向山病院)、医療法人毅峰会(吉田病院、青樹会病院)、 小西由香里(松島病院) ※順不同、()内は連携に参加する医療機関名

関医・看護師リカレントスクール入校式挙行

6月5日(水)10時20分から枚方学舎医学部棟4階中会議室において、山下敏夫理事長、金子一成スクール長はじめ教職員9名が列席し「第1回関医・看護師リカレントスクール入校式」が挙行され、受講する第1期生7名が入校式に臨みました。

臨席者紹介、山下理事長からの式辞、金子リカレントスクール長からの告辞に続き、受講生代表から受講にあたっての決意表明が行われました。受講生は「復職」という夢を抱き、これから2か月にわたり各種プログラムを受講します。

なお、当スクールは、開校以降入校にあたっての問い

合わせや反響が非常に大きいことから、第2期(令和元年10月～11月)開講に向けて鋭意準備を進めています。



受講生と教職員による記念撮影

医師の働き方改革をテーマに講演会開催

5月20日(月)18時から枚方学舎医学部棟加多乃講堂において、「医師の働き方改革について」と題した講演会が開催され、山下敏夫理事長はじめ澤田敏常務理事、神崎秀陽常務理事、友田幸一学長や各講座教授など約200名が参加しました。冒頭挨拶に立った山下理事長は「日本の医療は医師の献身によって成り立っている。その一方で医師数は少なく、現状を変えていく必要があり、今日はそのヒントを探りたい」と述べました。

続いて澤田常務理事からの挨拶の後、厚生労働省医政局医事課医師養成等企画調整室堀岡伸彦室長が登壇。2024年から始まる医師の働き方改革について、現在の状況を振り返りながら新しい労働基準にも触れつつ解説しました。堀岡室長は、新制度への対応ポイントとして

“タスクシフト”“タスクシェア”を挙げ、医師以外の医療スタッフや医師同士で作業を分担しあうことがカギを握ると話しました。



制度について解説する堀岡室長

臨床研究資金調達クラウドファンディング概要発表記者会見

6月10日(月)14時から枚方学舎医学部棟4階中会議室において、臨床研究資金調達クラウドファンディング概要発表記者会見が開かれました。

友田幸一学長、澤田敏附属病院長、外科学講座関本貢嗣教授による挨拶の後、外科学講座里井壯平診療教授が臨床試験の概要を説明。その後、READYFOR株式会社ソーシャルインパクト事業部小谷菜美マネージャーが、クラウドファンディングの概要を説明しました。

このクラウドファンディングは、腹膜に転移した膵臓がんへの新治療法の臨床試験資金を調達するため、READYFOR社が展開するサービス「Readyfor」を利用して広く寄付を募るものです。腹膜転移膵臓がんに対する新規治療法は、第Ⅰ/Ⅱ相試験で良好な治療成績が得られたものの、現在は保険適用外のため患者さんに多額の費用負担が生じます。そこで今回、臨床試験を実施し

一日も早い保険収載を実現するべく、クラウドファンディングの実施決定にいたしました。

※プロジェクト開始後、多くの方々からご支援を頂戴し、第一目標である1,000万円、その後目標金額である2,500万円に、9月8日の締切りには3,500万円に到達いたしました。心から感謝申し上げます。



質疑応答で回答する里井診療教授(左から2番目)

平成30年度事業報告

本学の平成30年度事業報告をとりまとめ、公表しました。主な内容は以下の通りです。

今後は、タワー棟建設やリハビリテーション学部(仮称)設置構想、北河内メディカルネットワークの推進なども踏まえ、さらなる教育・研究・診療の充実をめざします。

教育

- 医学部・医学研究科
 - 医師国家試験合格率・共用試験成績の向上
 - 新しい3つのポリシーと医学部新カリキュラム開始
 - 分野別認証評価受審への対応
 - 研究指導体制の充実(医学研究科)
- 看護学部・看護学研究科
 - 「看護の実践者」育成を目標とした教育の実施
 - 「高度実践看護士教育課程」認定(看護学研究科)

法人

創立90周年記念式典・記念講演会・祝賀会開催
 リハビリテーション学部設置準備室開設
 タワー棟建設計画始動

研究

私立大学研究ブランディング事業採択
 医歯薬連携共同研究開始
 iPS・幹細胞研究支援センター設置

診療

- 附属病院
 - 病院機能拡張整備工事
 - 医療機器更新
 - 救急医療充実
 - 先進医療の推進
- 総合医療センター
 - 初診患者増加施策実施
 - 患者サービスの向上
- 香里病院
 - 関医デイケアセンター・香里開設
 - リハビリテーションの強化
- くずは病院
 - 在宅系サービスの強化
- 天満橋総合クリニック
 - 人間ドックの検診部門での機能強化

平成30年度・令和元年度の内部監査

内部監査室長 稲垣千代子

平成30年度内部監査を下記の項目で実施し、その報告および令和元年度内部監査計画を理事長に提出して承認されました。
 本年度の内部監査も本学の業務が合法的且つ合理的・効率的に遂行されることを目指して評価し、本学の発展に資する助言ができるよう努めます。

1、平成30年度内部監査

以下の項目について点検・調査し、問題点の改善に向けて助言しました。

年次監査

- 1) 「公的研究費の管理状況(平成29年度対象)」
- 2) 「公的研究費管理のモニタリング(平成30年度対象)」
- 3) 「内部監査の品質管理(学内評価)」
- 4) 「私立大学等経常費補助金等の管理状況」

2、令和元年度内部監査計画(年次監査)

- 1) 監査項目：「公的研究費の管理状況(平成30年度対象)」
 監査対象部門：大学事務部研究課及び関連部門
 監査日程：令和元年7月

2) 監査項目：「研究助成金の管理状況」

監査対象部門：大学事務部研究課及び関連部門
 監査日程：令和元年9月

3) 監査項目：「私立大学研究ブランディング事業経費の管理」

監査対象部門：大学事務部研究課及び関連部門
 監査日程：令和元年11月

4) 監査項目：「公的研究費管理のモニタリング(令和元年度対象)」

監査対象部門：大学事務部研究課及び関連部門
 監査日程：令和元年12月～令和2年2月

以上

医療安全管理センター 平成30年度インシデント報告集計

医療安全管理センターでは、附属4病院の平成30年度インシデント報告を集計しました。総報告数は、11,261件で患者さんへの影響レベル別にした件数は、下の表のとおりです。

総報告数は昨年度(10,890件)より増加しました。これは、平成30年度分より、新たに法人の附属病院となったくずは病院のインシデント数を反映したことが大きな要因です。

発生した問題の上位4項目は変動なし。
 「内服・外用」「転倒・転落」「チューブ関係」
 「注射・点滴」で全体の約50%

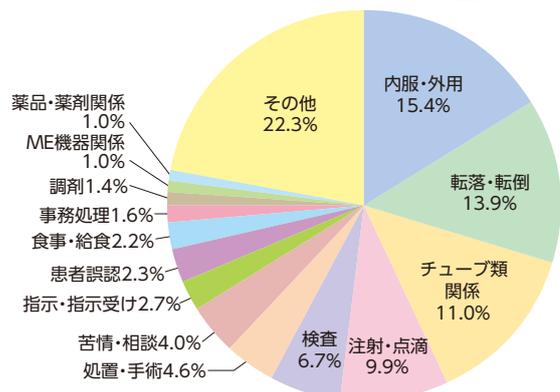
患者さんへの影響レベル別インシデント及び院内死亡報告数

事故が発生する前に気がついた	1,379件
事故は発生したが患者さんへの実害はなかった	4,312件
観察強化などが必要であるが、処置や治療は不要であった	2,797件
処置や治療を要した	1,606件
院内死亡報告	1,167件
総計	11,261件

インシデント内容は、(1)内服・外用、(2)転倒・転落、(3)チューブ類、(4)注射・点滴に関するものが多く、これらで全体の約50%を占めています。なお、上位の4項目とも昨年度と大きな変化はありません。

当センターでは、平成30年度から、くずは病院を加え附属4病院の事例検討を通じて、情報や対策の共有を図り、大学全体の医療安全向上を図ります。

発生した主な要因



「施設設備整備拡充資金」の募集のご案内

【募集趣意書】

平素より関西医科大学に対して、温かいご支援、ご協力を賜わりまして心より御礼申し上げます。

本学は、昭和3年の創立以来慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として生きる医人を育成することを「建学の精神」とし、自由・自律・自学の学風のもと、学問的探究心を備え、幅広い教養と国際的視野を持つ人間性豊かな良医を育成することを「教育の理念」として多くの医師を世に送り出し、社会に大いに貢献してまいりました。これからは、医学部と昨年開設いたしました看護学部とともに医学と看護学が両輪となり優秀な医療人を育成してまいります。

昨年度は創立90周年を迎え、施設設備整備事業として、枚方キャンパスに看護学部棟、総合医療センターにホスピタルガーデン、牧野キャンパスに武道館と弓道場がそれぞれ竣工いたしました。これもひとえに皆様方のお力添えの賜物と感謝いたしております。本年は、国際交流センターとホスピタル・インの機能を備えた本学のシンボルとしてタワー棟の建設を進めており、今後はリハビリテーション学部の設置、附属病院のリニューアル、最先端医学研究所の設立を予定しております。

近年の医療は益々多様化、複雑化してきており、これに 대응するためには教育・研究・診療施設設備のさらなる整備と拡充が必要となっております。斯かる経費を自己資金で賄うには限界があり、皆様のご支援、ご協力なくして達成できるものではありません。本学の一層の発展のため、本年度も下記のとおりご寄付の募集をさせていただくことになりました。この趣旨をご理解いただきまして、何卒ご支援、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【募集要項】

1. 募集対象

本学学生の保護者、同窓会員、本学関連の個人および法人その他

2. 申込方法及び払込方法

法人事務局財務部募金室に寄付金申込書をご提出(送付)いただいたうえで、本学指定の銀行口座に振込み、又は、ご持参ください。

【税制上の優遇措置】

●個人の場合

■所得税(どちらか一方の制度を選択)

(A) 所得控除(「寄附金控除」)

寄付金額から2千円を差引いた金額を所得金額から控除できます。所得控除を行なった後に税率を掛けるため、所得税率が高い高所得者の方に減税効果が高くなります。※寄付金額は総所得金額等の40%が限度となります。

(B) 税額控除(「公益社団法人等寄附金特別控除」)

寄付金額から2千円を引いた額の40%が税額控除の対象額となります。税率に関係なく、税額から直接控除するため、小口の寄付に減税効果が高くなります。

■住民税

お住まいの市町村の条例により個人住民税において寄付金税額控除の対象となることがあります。

詳しくはお住まいの市町村の住民税担当課にお問い合わせください。

●法人の場合

受配者指定寄付金制度を利用することで寄付金全額が損金算入されます。

最大 40%が減額されます

【お問い合わせ先】

関西医科大学法人事務局募金室 〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号

TEL: 072-804-2146 FAX: 072-804-2344 メール: bokin@hirakata.kmu.ac.jp HP: http://www.kmu.ac.jp/donation/index.html

なお、この募金の応募は任意です。

平成31年4月から令和元年6月までにご寄付いただきました方々のご芳名(五十音順)を掲載させていただきます。ご芳志に対して衷心より感謝申し上げます。

ご芳名のwebサイトでの掲載は控えさせていただきます。

関西医科大学創立90周年記念事業募金収支報告

創立90周年記念事業募金は、平成29年4月5日に開始し平成31年3月31日をもって2年間の募集期間が終了いたしました。この間、皆様の多大なご協力とご支援を賜り、看護学部の開設、総合医療センターのホスピタルガーデン、牧野講堂(武道館)、弓道場が竣工し、無事に創立90周年記念事業を完遂することができました。つきましては創立90周年記念事業募金の収支報告をさせていただくとともに、改めて心より深く感謝申し上げます。

1. 入金状況

件数	914件
募金総額	442,971,460円

(募金者内訳) (円)

区分	件数(件)	金額
同窓生	449	266,148,460
保護者	94	53,100,000
関連病院	34	25,650,000
関連業者	121	63,781,000
教職員	351	62,687,000
その他	13	23,420,000
	914	442,971,460

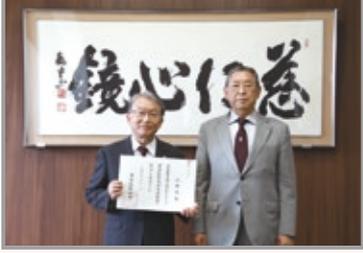
(注)区分は重複計上しているため合計と一致しません。

2. 支出状況

内訳	金額
牧野講堂(武道館)	237,632,400
看護学部棟	131,487,482
ホスピタルガーデン	56,351,778
弓道場	17,499,800
	442,971,460



今号掲載期間の主な出来事をご紹介します (記事掲載はオレンジ太字)

法人	5月20日	「働き方改革」特別講演会	
	5月22日	関医・看護師リカレントスクール概要発表記者会見	
	6月5日	関医・看護師リカレントスクール入校式	
	6月12日	北河内メディカルネットワーク認可	
大学	3月26日	Student Doctor認証式	
	4月8日	平成31年度大学院医学研究科入学式	
	4月11・12日	1学年合宿研修	
	4月20日	第18回医療健康セミナー	
	5月15日	第89回解剖体追悼法要・遺骨返還式	
	5月16日	国外臨床実習成果報告会	
	5月18日	大学院看護学研究科入試説明会	
	5月18日	第19回医療健康セミナー	
	6月2日	看護学部オープンキャンパス	
	6月6日	名誉教授称号授与式	
	6月10日	臨床研究資金調達クラウドファンディング概要発表記者会見	
	6月11・15日	看護学部FD部会主催研修会	
	6月14日	英国王立医学協会医師来学	
	6月15日	第38回関西医大白菊会総会	
6月15日	医学部新任教員教育FD開催		
6月15日	第20回医療健康セミナー		
6月18日	学生・若手看護師交流会		
附属病院	3月27日	歯科・口腔外科外来拡充	
	4月1日	アレルギーセンター外来開設	
	4月24日	救急フォーラム	
	6月19日	春季消防訓練	
香里病院	5月18日	市民公開講座	
附属看護専門学校	5月10日	戴帽式	
卒業臨床研修センター	5月11日	臨地実習指導者研修	
	5月12日	マイナビレジフェス大阪出展	
	5月18日	初期臨床研修合同説明会「研修医と語ろう会」	
	5月18日	専門医研修説明会	



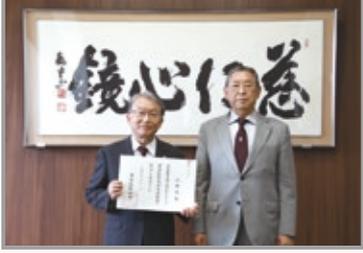
関医・看護師リカレントスクール概要発表記者会見



大学院看護学研究科入試説明会



オープンキャンパス



名誉教授称号授与式



アレルギーセンター外来開設

平成31年度Student Doctor認証式

3月26日(火) 14時から、枚方学舎医学部棟加多乃講堂において平成31年度Student Doctor 認証式が挙行されました。Student Doctorとは、OSCE及びCBTに合格して5学年に進級した医学部学生に対し、臨床実習中の医学生としての医行為を認める制度です。

認証式では友田幸一学長の挨拶の後に学生一人一人へ認定証を授与。野村昌作医学部教務部長の挨拶の後、臨床実習先を代表して、附属病院澤田敏病院長、総合医療センター杉浦哲朗病院長から訓示が述べられました。

最後に学生代表から、Student Doctorとしての誓いの言葉が述べられ、学生たちは、臨床現場で始まる実習に向けて気を引き締めている様子でした。



友田学長他関係教職員と認証を受けた5学年学生

1 学年合宿研修

4月11日(木)・12日(金)、ウェスティンホテル淡路(淡路市)および兵庫県立淡路夢舞台国際会議場(同市)において、1泊2日の日程で医学部・看護学部1学年の合宿研修が実施されました。

両学部合同では初開催となった合宿は、英語教室中川淳教授の開講宣言により幕を開けました。1日目は医学教育センター西屋克己センター長による講演や接遇講習会、グループディスカッションを実施。その後は友田幸一学長主催の新入生歓迎パーティーが開かれました。2日目には前日のディスカッションをまとめた内容を発表。その後は両学部の学生に加え教職員も加わった合同チームでのレクリエーション活動として、各グループが協力して紙で作った輪を繋ぎ、長さを競う「輪繋ぎ」ゲームが行われました。

新入生は、合宿での活動を通して教職員や友人とのコミュニケーションを一層深め、大きな成果を得ていました。



「輪繋ぎ」に挑戦する学生たち

平成31年度大学院医学研究科入学式挙行

4月8日(月) 15時から枚方学舎医学部棟4階中会議室において、平成31年度大学院医学研究科入学式が挙行されました。友田幸一学長、藤澤順一大学院医学研究科教務部長をはじめ教職員11名が出席する中、医科学専攻に入学した35名が、大学院生としての一步を踏み出しました。新入生氏名読み上げののち、友田学長から式辞が、藤澤大学院医学研究科教務部長から挨拶があり、新入生へ向けてこれからの大学院生生活に関する激励とアドバイスが贈られました。



新入生を前に挨拶する藤澤大学院医学研究科教務部長

2020年度 医学部入学試験概要

試験実施日程

	学校推薦 入学試験	特色入学試験	一般入学試験 (前期)	センター試験 利用入学試験 (前期)	センター・ 一般併用 入学試験	一般入学試験 (後期)	NEW センター試験 利用入学試験 (後期)
募集人員	10名	若干名	約70名	10名	10名	10名 ※一般入学試験(後期)・センター試験 利用入学試験(後期)と合わせて	
募集区分	特別枠 (専願)	一般枠					
インターネット 出願期間	自 2019年 11月1日(金) 至 2019年 11月11日(月)		自 2019年 12月2日(月) 至 2020年 1月13日(月)	自 2019年 12月9日(月) 至 2020年 1月17日(金)	自 2019年 12月2日(月) 至 2020年 1月14日(火)	自 2020年 2月3日(月) 至 2020年 2月19日(水)	
書類受付 期間	自 2019年 11月1日(金) 至 2019年 11月11日(月) 当日消印有効		自 2019年 12月2日(月) 至 2020年 1月14日(火) 当日消印有効	自 2019年 12月9日(月) 至 2020年 1月17日(金) 当日消印有効	自 2019年 12月2日(月) 至 2020年 1月14日(火) 当日消印有効	自 2020年 2月3日(月) 至 2020年 2月19日(水) 当日消印有効	
第1次 試験日	—————		2020年 1月25日(土)	自 2020年 1月18日(土) 至 2020年 1月19日(日)	2020年 1月18日(土)・19日(日) 2020年 1月25日(土)	2020年 2月29日(土)	自 2020年 1月18日(土) 至 2020年 1月19日(日)
第1次 試験会場	—————		大阪会場：インテックス大阪 東京会場：TOC五反田メッセ (定員600名) 名古屋会場：TKPガーデン シティ栄駅前(定員250名) 福岡会場：南近代ビル (定員250名)	大学入試センター 受験地	第1次試験会場は、センター 試験利用入学 試験と一般入 学試験(前期) と同じです。	関西医科大学 枚方学舎 医学部棟 (志願者多数の場合、 近隣の施設を使用 することがあります)	大学入試センター 受験地
第1次試験 合格者発表	—————		2020年 2月4日(火)	2020年 2月6日(木)		2020年 3月7日(土)	
第1次試験 結果通知	2019年 11月19日(火)	—————	—————	—————	—————	—————	—————
第2次 試験日	2019年 11月24日(日)	2020年 2月8日(土)	2020年 2月8日(土)	2020年 2月15日(土)		2020年 3月10日(火)	
第2次 試験会場	関西医科大学 枚方学舎 医学部棟		関西医科大学 枚方学舎 医学部棟	関西医科大学 枚方学舎 看護学部棟		関西医科大学 枚方学舎 医学部棟	
第2次試験 合格者発表	2019年 11月29日(金)	2020年 2月14日(金)	2020年 2月14日(金)	2020年 2月20日(木)		2020年 3月13日(金)	
手続 完了期限	2019年 12月9日(月)	2020年 2月21日(金)	2020年 2月21日(金)	2020年 2月27日(木)		2020年 3月19日(木)	

※詳細は、2020年度医学部学生募集要項をご確認ください。

2020年度 看護学部入学試験概要

【推薦入学試験】

募 集 人 員	30名
インターネット出願期間	2019年10月24日(木)～2019年11月5日(火)
書類提出期限	2019年11月6日(水)必着
試 験 日	2019年11月17日(日)
試 験 会 場	本校枚方学舎看護学部棟
合格者発表	2019年11月21日(木)
手続完了期限	2019年12月2日(月)

【一般入学試験】

募 集 人 員	60名
インターネット出願期間	2019年12月9日(月)～2020年1月15日(水)
書類提出期限	2020年1月16日(木)必着
試 験 日	2020年1月26日(日)
試 験 会 場	本校枚方学舎医学部棟
合格者発表	2020年2月1日(土)
手続完了期限	2020年2月10日(月)

【センター試験利用入学試験】

募 集 人 員	10名
インターネット出願期間	2019年12月9日(月)～2020年1月16日(木)
書類提出期限	2020年1月17日(金)必着
センター試験日	2020年1月18日(土)・1月19日(日)
センター試験会場	大学入試センター試験各自受験地
合格者発表	2020年2月7日(金)
手続完了期限	2020年2月17日(月)

※詳細は、2020年度看護学部学生募集要項をご確認ください。

2020年度大学院医学研究科学生募集要項（博士課程）

2020年度学生募集を下記のとおり開始しました。

■募集人員 医科学専攻 計50名(前後期の合計)

■試験概要

	前期〈一般、社会人〉	前期〈外国人〉	後期〈一般、社会人〉
願書受付期間	2019年7月17日(水)～ 2019年8月21日(水)	2019年7月17日(水)～ 2019年9月6日(金)	2020年1月6日(月)～ 2020年1月22日(水)
試験期日	2019年9月7日(土)	書類審査	2020年2月1日(土)
合格発表	2019年10月9日(水)正午		2020年2月14日(金)正午

■選抜方法 〈一般入試、社会人入試〉 入学者の選考は、学力試験(外国語試験^{*}、研究分野別試験)を総合して行います。
※次のいずれかの条件を満たしている場合は、外国語(英語)試験の受験を免除します。ただし、出願日から遡って2年以内の結果に限ります。

なお、出願時に語学力を証明する書類の提出が必要です。

・TOEFL iBT 80点以上 ・TOEIC 750点以上 ・IELTS 6.0以上

〈外国人入試〉 書類審査を実施します。

入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(<http://www.kmu.ac.jp/juk/gsreb.html>)をご覧ください。

2020年度大学院看護学研究科学生募集要項

2020年度冬期日程の学生募集を下記のとおり行います。

募集人員

看護学専攻 博士前期課程	14名
看護学専攻 博士後期課程	若干名

試験概要

願 書 受 付 期 間	2019年11月8日(金)～2019年11月22日(金)【必着】
試 験 期 日	2019年12月7日(土)
合 格 発 表	2019年12月13日(金) 正午

※出願するコース及び出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要な場合があります。

入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(http://www.kmu.ac.jp/juk/fon_graduate/)をご覧ください。

第89回解剖体追悼法要・2019年度遺骨返還式

5月15日(水)10時から臨済宗建仁寺派大本山建仁寺(京都市東山区)において「第89回解剖体追悼法要」が営まれました。医学の発展に寄与するため篤志によりご献体くださった故人のご遺族や白菊会会員、友田幸一学長をはじめとする教職員250名、医学部2・3学年学生が参列。施主代表の友田学長が追悼の言葉を述べた後、僧侶による読経が捧げられ、参列者による焼香が行われました。

その後、11時からは同所で「遺骨返還式」を挙げる。9柱の遺骨がそれぞれのご遺族へ返還され、あわせて文部科学大臣からの感謝状が贈呈されました。

また、当日は同寺塔頭正伝永源院にある本学慰霊碑を、参列者が訪れ参拝しました。



焼香を行う学生

第38回関西医大白菊会総会を開催

6月15日(土)13時から、枚方学舎医学部棟加多乃講堂において「第38回関西医大白菊会総会」が開催され、友田幸一学長を始めとする本学教職員と篤志により医学教育のための献体を希望する会員ら、171名が参加しました。冒頭、混声合唱団コールクライスが白菊会の歌を合唱。友田学長の挨拶に続いて白菊会役員の紹介があり、藤澤直子会長が挨拶しました。その後、行事・会計報告、会計監査報告、2019年度予算審議があり、全員で記念撮影を行いました。

また、同会場で引き続いて行われた第2部では、堂迫千草副会長と堂迫康雄トリオが「堂迫千草オンステー

ジ」を開演。会場全体で声を合わせて歌う場面も見られるなど、盛り上がりを見せました。



総会出席者による集合写真

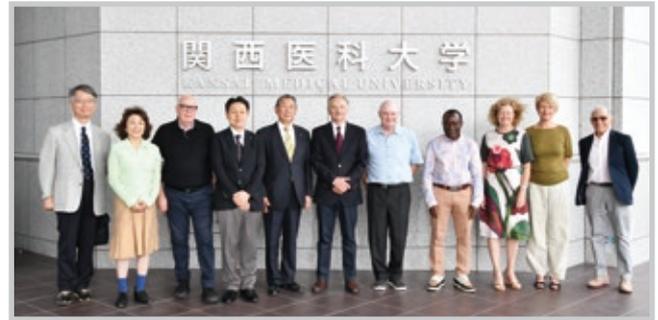
英国王立医学協会の医師が来日

6月14日(金)、英国王立医学協会に所属するイギリス・オーストラリアの医師ら7名が来日し、本学を訪問しました。これは、本学出身の立命館大学薬学部薬学科木村富紀教授が、本学と英国王立医学協会の関係強化を図るため持ちかけて実現したもので、10時に友田幸一学長を表敬訪問。国際交流センター鈴鹿有子センター長も交えて歓談し、日英豪の親交を深めました。

その後一行は、産科学・婦人科学講座岡田英孝教授の案内で附属病院を視察。生殖医療センターや総合周産期母子医療センター、小児医療センターなどを見学し、続いてシミュレーションセンターでは最新の医学医療シミュレータについての説明を、興味深く聞いていました。

訪問の最後には、訪日ツアーのリーダーを務める体外

受精の世界的な第一人者Dr. Peter Brisdenが本学の学生・教職員らに「The History of IVF」と第する講演を行い、これまでの取り組みや実績について紹介しました。



世話役の木村教授(左端)、Peter Brisden先生(真中)と医師団の一行

国外臨床実習成果報告会

5月16日(木) 17時から枚方学舎医学部棟加多乃講堂において「国外臨床実習成果報告会」が開催され、医学部1学年学生の他、国外での臨床実習に興味を持つ学生ら計165名が参加しました。

本学の国外臨床実習は、希望者の中から選抜された6学年学生が、協定先等の国外施設において実習を行うもの。今年は13名が、グラスゴー大学(スコットランド)、チュービンゲン大学、レバークーゼン総合病院(以上ドイツ)、カリフォルニア大学サンフランシスコ校、バーモント大学(以上アメリカ)、マレーシア国立循環器病センター(マレーシア)、トロント小児病院(カナダ)の7施設で実習を行いました。

報告会では国外臨床実習に参加した学生が、実習スケ

ジュールや実習先の地域の特徴などについて英語で参加者に報告しました。また、現在の6学年学生が5学年時にマヒドン大学(タイ)で実施した社会医学実習の報告も併せて行われました。



国外臨床実習参加学生と国際交流センター鈴鹿有子センター長(左端)

医学部新任教員教育FD開催

6月15日(土) 14時から枚方学舎医学部棟2階第4講義室において、「2019年度新任教員教育FD-本学の医学教育の現状を知る-」が開催され、医学部に新たに採用された教員約80名が参加しました。

友田幸一学長からの挨拶及び大学の概要説明に続き「本学のカリキュラムについて」「分野別認証について」「本学のCBTについて」「本学の臨床・クラークシップ」「本学のOSCE、PostCC-OSCEについて」「本学の国試対策について」「本学の教員評価制度について」と題した7つの講演が行われ、参加者は本学における教育活動について学びを深めました。

看護学部FD委員会主催研修会開催

6月11日(火) 17時30分から枚方学舎看護学部棟3階第2講義室において、看護学部・看護学研究科FD委員会主催研修会「看護学部教員の研究テーマを知ろう」が開催され、看護学部教員および附属病院職員ら計25名が参加しました。6回目となる今回は、看護学部の上野昌江教授(地域看護学領域)、安藤布紀子准教授(母性看護学領域)がそれぞれ自身のこれまでの研究について講演しました。

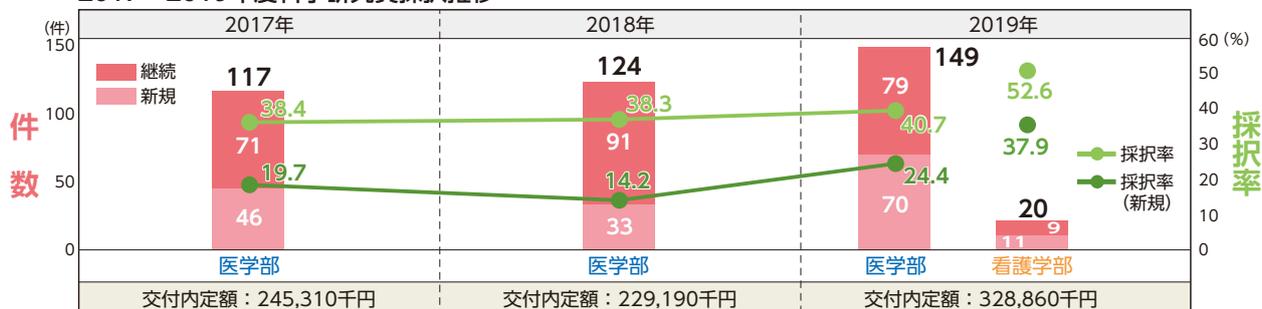
6月15日(土)には、9時から枚方学舎看護学部棟1階遠隔講義室において、若手教員の能力向上への支援を目的とした同委員会主催研修会「経験型実習教育(理論編)」が開催され、看護学部の安酸史子教授(看護学教育領域)が講演を行い、看護学部教員および大学院生ら計15名が参加しました。

平成31年度科学研究費助成事業交付内定者一覽他

※掲載情報は申請当時

文部科学省・日本学術振興会関係

2017～2019年度科学研究費採択推移



平成31年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額 (直接経費)	交付内定額 (間接経費)	交付内定額 (合計)
新学術領域研究	7	25,200,000	7,560,000	32,760,000
基盤研究 (B)	17	64,400,000	19,320,000	83,720,000
若手研究 (A)	1	4,400,000	1,320,000	5,720,000
学術図書	1	1,000,000	0	1,000,000
合計	26	95,000,000	28,200,000	123,200,000

(単位：円)

平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額 (直接経費)	交付内定額 (間接経費)	交付内定額 (合計)
基盤研究 (C)	94	100,300,000	30,090,000	130,390,000
基盤研究 (C) 特設研究	1	600,000	180,000	780,000
若手研究	40	45,500,000	13,650,000	59,150,000
若手研究 (B)	7	5,000,000	1,500,000	6,500,000
挑戦の萌芽研究	2	4,800,000	1,440,000	6,240,000
合計	144	156,200,000	46,860,000	203,060,000

(単位：円)

平成31年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定者(代表者)一覽(文部科学省・日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
新学術領域研究 (研究領域提案型) 新規	生理学講座	中村 加枝	教授	ストレス下の意思決定破綻の神経機構の解明	3,000,000	900,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	六車 恵子	教授	てんかん発作を惹起するシンギュラリティ構造の同定と制御	3,300,000	990,000
新学術領域研究 (研究領域提案型) 継続	生理学講座	眞田 尚久	助教	液体粘性知覚の神経メカニズムの解明	3,400,000	1,020,000
	実験病理学講座	上野 博夫	教授	舌・食道上皮幹細胞由来正常・異常オルガノイドの単一細胞4D動態・遺伝子発現解析	5,100,000	1,530,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	玉田 篤史	准教授	バイオイメージング画像から構造と運動を自動解析するソフトウェアの開発	2,000,000	600,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	玉田 篤史	准教授	分子・細胞・組織におけるキラリティ構造の定量解析と階層間変換原理の解明	3,900,000	1,170,000
	神経機能部門	小早川 高	学長特命准教授	低体温と低酸素抵抗性を伴う生体保護代謝アダプテーションの解明	4,500,000	1,350,000
基盤研究(B)新規	分子遺伝学部門	木梨 達雄	教授	一分子計測によるインテグリン接着の動的制御の解明	5,000,000	1,500,000
	医化学講座	寿野 良二	講師	バイアスリガンド開発に資するG蛋白質質/アレスチン-GPCR複合体の構造解析	3,900,000	1,170,000
	薬理学講座	中邨 智之	教授	生体組織の伸縮性を生み出すしくみの研究	5,000,000	1,500,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(B)新規	細胞機能部門	小原 圭吾	講師	新戦略を用いた遺伝子導入技術の開発と成体海馬における「細胞競合仮説」の検証と解析	8,600,000	2,580,000
	生理学講座	中村 加枝	教授	負の情動下の意思決定行動変容の神経基盤：拡張扁桃体-大脳基底核回路の探求	2,700,000	810,000
	地域看護学領域	上野 昌江	教授	子どもの虐待予防における『生きづらさ』を抱えた人への妊娠期からの支援手法の変革	2,500,000	750,000
	衛生・公衆衛生学講座	甲田 勝康	研究教授	体脂肪分布が臓器機能障害におよぼす影響についての大規模疫学研究	4,300,000	1,290,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	玉田 篤史	准教授	ヒト脳オルガノイドの成熟化誘導技術と自動解析技術の開発	7,600,000	2,280,000
基盤研究(B)継続	こども看護学領域	加藤 令子	教授	障がいのある子どもが自然災害に備えセルフケア能力を高めるための支援構築	2,100,000	630,000
	基礎看護学領域	藤本 悦子	教授	糖尿病を抱える続発性リンパ浮腫患者のケアに関する研究	1,300,000	390,000
基盤研究(B)継続	看護学教育領域	安酸 史子	教授	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成	3,100,000	930,000
	内科学第三講座	山敷 宣代	講師	肝移植診療に患者及びドナーが主体的に参加するための情報環境の確立及び評価	1,400,000	420,000
	形成外科学講座	森本 尚樹	准教授	高圧処理技術を用いた巨大色素性母斑治療～不活化機序解明と生着率向上	2,500,000	750,000
	老年看護学領域	水野 敏子	教授	「独り暮らし」高齢者の在宅死を可能にする訪問看護モデルの有効性の検証	1,100,000	330,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	六車 恵子	教授	変性疾患における小脳・大脳神経細胞の脆弱性の解析	4,300,000	1,290,000
	神経機能部門	小早川 令子	学長特命教授	先天的恐怖を誘発する嗅覚刺激による未知の生体保護作用の解明	4,500,000	1,350,000
	内科学第二講座	塩島 一朗	教授	心疾患におけるnon-canonical Wntシグナルの病態生理学的意義の解明	4,500,000	1,350,000
若手研究(A)継続	神経機能部門	山中 智子	研究員	先天的恐怖に伴う体温低下を制御するメカニズムの解明	4,400,000	1,320,000
学術図書新規	在宅看護学領域	李 錦純	准教授	在日外国人の高齢者保健福祉に関する研究	1,000,000	0

(単位：円)

文部科学省・日本学術振興会関係

平成31年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 交付内定者(代表者) 一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C)新規	心療内科学講座	山本 和美	研究員	乳がん患者へのマインドフルネスストレス低減法による介入効果の検討	1,400,000	420,000
	生理学講座	倉岡 康治	助教	霊長類扁桃体における情動情報と社会的情報の統合・制御機序の解明	1,700,000	510,000
	神経機能部門	松尾 朋彦	研究員	恐怖情動時の生理応答変化を担う神経回路の解明	1,000,000	300,000
	形成外科学講座	益岡 弘	助教	口輪筋と顔面表情筋群の複合的メカニズムの解明と正常な表情獲得のための基盤の検討	1,400,000	420,000
	解剖学講座	田中 進	准教授	単一細胞解析による覚醒制御機構の解明	1,300,000	390,000
	解剖学講座	和田 幸恵	講師	シュワン細胞の発生・成熟における硫酸化糖脂質の生理的意義の解明	1,200,000	360,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	服部 文幸	研究教授	心筋細胞の発生学的成熟化スイッチの解明と、ヒトiPS細胞由来心筋細胞への応用	2,000,000	600,000
	医化学講座	井上 明俊	助教	慢性搔痒の創薬、がんの抗体医薬開発に向けた中枢痒み受容体の構造基盤解明	1,300,000	390,000
	薬理学講座	三木 貴雄	講師	がんと概日リズムの関連から同定した新規がん制御機構の解析	1,100,000	330,000
	医化学講座	西田 和彦	助教	内臓痛の伝達に関与する脊髄内神経回路とその構築を制御する分子基盤の解明	1,200,000	360,000
	医化学講座	片野 泰代	准教授	BEGAINによって調節される慢性疼痛特異的な脊髄内伝達回路の解明と創薬への試み	1,000,000	300,000
	内科学第一講座	野村 昌作	教授	サイトカイン遺伝子の一塩基多型解析とEVを用いた難治性ITPの早期診断法の開発	1,500,000	450,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	小林 良樹	講師	好酸球ペルオキシダーゼ抗体の存在から難治性好酸球性気道炎症の新たな治療戦略を探索	1,100,000	330,000
	精神神経科学講座	奥川 学	准教授	麻酔-ECT時間がけいれん発作の質および臨床的有效性・忍容性に及ぼす影響について	1,600,000	480,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	精神神経科学講座	吉村 匡史	講 師	レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症に対する経頭蓋直流電気刺激(tDCS)	1,100,000	330,000
	小児科学講座	辻 章志	准教授	腸管免疫に影響を与える腸内細菌叢に着目した微小変化型ネフローゼ症候群の病因解明	1,000,000	300,000
	実験病理学講座	松浦 徹	講 師	大腸がん組織内での概日周期多様性とその治療への応用	1,100,000	330,000
	皮膚科学講座	神戸 直智	准教授	自己炎症的機序を端緒とした肉芽腫形成の分子機構解明	1,700,000	510,000
	内科学第一講座	佐竹 敦志	講 師	セマフォリン4Aが移植後免疫応答に及ぼす影響の解明と新規急性GVHD制御法の開発	1,100,000	330,000
	心臓血管外科学講座	岡田 隆之	講 師	網羅的遺伝子解析による大動脈疾患へのプレジジョンメディシンの創出	1,700,000	510,000
	侵襲反応制御部門	松尾 禎之	講 師	自然免疫細胞の代謝リプログラミング解析を主軸とした周術期炎症応答の分子機序の探求	1,700,000	510,000
	麻酔科学講座	竹下 淳	研究医員	敗血症病態における血小板数減少と細胞死のmicroRNA網羅的解析による機序解明	1,900,000	570,000
	麻酔科学講座	影山 京子	研究医員	血小板と白血球の相互作用による敗血症増悪病態におけるmicroRNAの役割の解明	1,900,000	570,000
	腎泌尿器外科学講座	松田 公志	教 授	Augmented realityを利用した追体験型内視鏡手術教育システムの開発	1,900,000	570,000
	産科学・婦人科学講座	都築 朋子	講 師	酸素・エネルギー代謝解析によるHIF-1を機軸とした子宮内膜炎症応答の解明	1,700,000	510,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	神田 晃	講 師	好酸球性気道炎症における選択的アセチルコリン受容体の機序解明と新しい治療薬の開発	1,000,000	300,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	岩井 大	教 授	Tリンパ球分画接種による老人性難聴の予防法および予防機序の解明	700,000	210,000
	実験病理学講座	庄野 朱美	研究員	咽喉頭粘膜上皮における新規成体幹細胞の探索と細胞の多様性の解明	1,300,000	390,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	中塚 隆介	助 教	ヒトiPS細胞からの生理機能を有した副甲状腺細胞分化誘導同法の開発と機能評価	800,000	240,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	兒島 由佳	講 師	薬剤関連顎骨壊死の発症原因解明と発症予防法確立に向けた多施設共同前向き研究	1,300,000	390,000
	心療内科学講座	阿部 哲也	講 師	医療面接における共感場面の社会的・生理的特徴からの客観的解明	900,000	270,000
	精神看護学領域	三木 明子	教 授	訪問看護師・介護員における暴力への対応力向上のためのトレーニングプログラムの開発	900,000	270,000
	クリティカルケア看護学領域	林 優子	教 授	急性・重症患者看護専門看護師の倫理的実践知の体系化-倫理的実践の質向上に向けて-	1,000,000	300,000
	母性(助産)看護学領域	川崎 有紀	助 教	妊娠糖尿病と診断された女性の産後糖尿病発症予防に向けてのプログラム構築	1,300,000	390,000
	在宅看護学領域	李 錦純	准教授	多文化共生社会の高齢化に対応した在宅ケアグローバル人材養成教育プログラムの開発	1,000,000	300,000
	地域看護学領域	海原 律子	助 教	社会的孤立の状態にある高齢者の理解と孤立した生き方を尊重した支援の検討	1,100,000	330,000
	在宅看護学領域	武 ユカリ	講 師	訪問看護における暴力防止のためのe-learningによる教育プログラム開発	500,000	150,000
	衛生・公衆衛生学講座	三宅 眞理	講 師	ICTを用いたフレイルとMCI予防プログラムの開発	1,000,000	300,000
数学教室	北脇 知己	教 授	自転車ペダリング動作スキルの計測デバイス開発と評価指標の確立	1,000,000	300,000	
基盤研究(C) 継続	解剖学講座	北田 容章	教 授	ゼノバスにおける部位特異的遺伝子組換え技術に資する遺伝子座の同定	800,000	240,000
	実験病理学講座	吉田 真子	講 師	タイムラプスイメージングに基づく膝島形成原理の解明	1,300,000	390,000
	放射線科学講座	米虫 敦	講 師	ハイブリッド手術における医療従事者の水晶体被曝線量評価に関する多施設共同研究	600,000	180,000
	小児科学講座	高屋 淳二	非常勤講 師	都市部貧困がもたらす肥満児予防対策の検討	1,000,000	300,000
	放射線科学講座	中村 聡明	准教授	高精度がん放射線治療の確立に向けたWeb教育システム開発	700,000	210,000
	ゲノム解析部門	日笠幸一郎	学長特命教 授	疾患関連変異の探索に適した高次元型日本人ゲノム参照配列の構築	500,000	150,000
	ゲノム解析部門	三澤 計治	講 師	尿酸値を対象とした遺伝要因および環境要因を交えた疾患リスク推定モデル構築の研究	1,100,000	330,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	分子遺伝学部門	上岡 裕治	講 師	COPDマウスモデルの生体肺イメージングによるリンパ球リクルーティング解析	1,200,000	360,000
	衛生・公衆衛生学講座	保坂 直樹	研究員	再生胸腺微小環境によるT細胞誘導と治療への応用	1,300,000	390,000
	臨床病理学講座	吉賀 正亨	非常勤講 師	脂肪分解酵素を介する内因性ジギタリス物質の産生機序の関与と高血圧発症機序の解明	900,000	270,000
	衛生・公衆衛生学講座	西山 利正	教 授	ヒトに対して安全な蚊幼虫発育阻止剤を用いた蚊媒介性ウイルス感染症制御の検討	1,200,000	360,000
	法医学講座	橋谷田真樹	准教授	生前ストレス・年齢・体液を解析する法医メチレーションパネルの開発	200,000	60,000
	法医学講座	松本 智寛	講 師	合成カンナビノイドの体内動態とカタレプシー発現との関連性の解明	900,000	270,000
	内科学第三講座	岡崎 和一	教 授	自己免疫性膵炎の免疫病態と線維化における自然免疫の関与に関する研究	800,000	240,000
	薬理学講座	平井 希俊	講 師	ErbB受容体を介した成熟心筋細胞の増殖誘導	1,000,000	300,000
	実験病理学講座	熊野 恵城	准教授	肺がん幹細胞の起源の違いに基づく新たな治療標的の探索	700,000	210,000
	内科学第二講座	塚口 裕康	講 師	腎嚢胞形成を促進するシグナル伝達機構の分子遺伝学的研究	700,000	210,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	松岡 由和	助 教	ヒト造血幹細胞支持因子の同定と支持機構の解明	600,000	180,000
	内科学第一講座	伊藤 量基	准教授	骨髄腫最適化治療に向けたIMiDsと抗体医薬の免疫賦活機序の解明	1,100,000	330,000
	精神神経科学講座	嶽北 佳輝	講 師	無作為比較試験を基にした治療抵抗性統合失調症の生物学的治療アルゴリズム構築と検証	1,600,000	480,000
	精神神経科学講座	織田 裕行	助 教	自殺企図男性のLOH症候群に関する検証	400,000	120,000
	放射線科学講座	狩谷 秀治	准教授	ナノバブル生成器の開発：バブル投与下超音波照射によるソノポレーション効果での検証	900,000	270,000
	放射線科学講座	谷川 昇	教 授	悪性腫瘍に対する2種類の同位元素を用いた新しい経カテーテル的放射線塞栓療法の開発	600,000	180,000
	外科学講座	石崎 守彦	講 師	増殖型遺伝子組換えヘルペスウイルスを用いた神経内分泌腫瘍に対する新規治療の開発	800,000	240,000
	呼吸器外科学講座	村川 知弘	教 授	ウイルスの関与に着目した胸腺上皮性腫瘍発症メカニズムに関する探索的研究	800,000	240,000
	麻酔科学講座	中嶋 康文	教 授	microRNAによる妊娠高血圧症候群の病態解明と遺伝子治療への応用	700,000	210,000
	腎泌尿器外科学講座	駒井 資弘	講 師	腎不全進行克服に向けた腎臓における組織幹細胞階層構造解析	700,000	210,000
	病態分子イメージングセンター	船津 宣雄	助 教	精母細胞に特異的に発現する転写因子Ovol2の精子形成における役割	400,000	120,000
	腎泌尿器外科学講座	木下 秀文	准教授	手術動作の医工学的な解析と、それらを基盤とした科学的なトレーニング法の構築	300,000	90,000
	産科学・婦人科学講座	岡田 英孝	教 授	転写因子HAND 2による着床制御機構の解明	900,000	270,000
	形成外科学講座	覚道奈津子	講 師	脂肪幹細胞の低酸素応答メカニズムの解明と新たな体外増幅法の開発	800,000	240,000
	救急医学講座	鎌方 安行	教 授	敗血症ショックに対するβ受容体機能調整を利用した新しい循環制御法の開発	900,000	270,000
	救急医学講座	室谷 卓	講 師	来院時心肺停止患者における赤血球表面上の補体沈着とその侵襲の評価	500,000	150,000
	基礎看護学領域	山下 裕紀	准教授	communionを基盤とした看護プログラムの開発	1,000,000	300,000
	こども看護学領域	原 朱美	講 師	こどものセルフケア能力に着目した在宅生活支援モデルの検討	1,200,000	360,000
	生物学教室	平野 伸二	教 授	神経系における細胞接着分子プロトカベヘリン1の作用機構の解明	1,100,000	330,000
	内科学第三講座	安藤 祐吾	講 師	炎症性腸疾患モデルマウスにおけるmicroRNAの制御機構	1,800,000	540,000
微生物学講座	藤澤 順一	教 授	HTLV-1慢性感染およびATL発症過程におけるがん微小環境の役割	1,400,000	420,000	
内科学第三講座	田原 智満	講 師	腸内細菌による大腸腫瘍初期病変の異なる分子サブタイプ誘導に関する検討	800,000	240,000	
生理学講座	安田 正治	講 師	負の情動下における、セロトニン投射を介した行動制御機構の解明	1,200,000	360,000	

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	心療内科学講座	蓮尾 英明	助 教	がん患者の不眠障害に対する在宅心身モニタリングの検討	300,000	90,000
	内科学第三講座	内田 一茂	准教授	自然免疫反応からみた1型自己免疫性膵炎の病態解明	1,200,000	360,000
	内科学第二講座	岩崎 真佳	講 師	食後高血糖・食後高中性脂肪血症が骨髄幹細胞・血管内皮前駆細胞に与える影響	1,200,000	360,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	人見 浩史	教 授	iPS細胞を用いた腎性貧血に対する新規治療法の開発	900,000	270,000
	ゲノム編集部門	福田 尚代	助 教	細胞極性制御複合体Exocyst-par3の機能解析と乳がん治療への応用	1,100,000	330,000
	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	インドシアニングリーン・ラクトソームを用いた胆嚢癌に対する新規治療法の研究開発	1,100,000	330,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	白水 泰昌	講 師	増殖能を有するヒトips細胞由来肝前駆細胞の凍結保存と急性肝不全治療への応用	1,100,000	330,000
	心臓血管外科学講座	駒井 宏好	診療教授	閉塞性動脈硬化症重症下肢虚血患者の予後に対する悪性新生物の影響	1,400,000	420,000
	侵襲反応制御部門	岩井 鉄平	研究員	グリオーマ幹細胞を用いたがん組織表現型と遺伝子発現への麻酔薬の影響の検討	1,100,000	330,000
	脳神経外科学講座	浅井 昭雄	教 授	グリオーマがん幹細胞におけるOX40シグナルの機能解析	1,300,000	390,000
	眼科学講座	高橋 寛二	教 授	網膜静脈閉塞症の病的/生理的血管新生発生要因をOCTアンギオグラフィーで検討する	1,100,000	330,000
	形成外科学講座	楠本 健司	教 授	多血小板血漿による創傷治癒過程における脂肪誘導の検討	1,200,000	360,000
	心理学教室	西垣 悦代	教 授	コーチングを活用した医学生向けレジリエンストレーニングプログラムの作成	800,000	240,000
	慢性疾患看護学領域	青木 早苗	准教授	遺伝的リスクがある乳がん女性のセルフ・トランセンデンスを促進する支援モデルの構築	900,000	270,000
	心療内科学講座	福永 幹彦	教 授	光環境サイクルという視点からの、新たな心身症治療法の可能性	800,000	240,000
若手研究 新規	iPS・幹細胞再生医学講座	角出 啓輔	研究員	ヒトiPS細胞由来肝オルガノイドによるヒト胎児肝造血の再現	800,000	240,000
	神経機能部門	土井 昭宏	研究員	匂いに対する蚊の擬死行動誘発メカニズムの解明	1,000,000	300,000
	生体情報部門	住吉 麻実	助 教	小胞輸送制御因子Arfを介したpathogenic Th17細胞制御機構の解明	1,800,000	540,000
	解剖学講座	中野 洋輔	助 教	腫瘍関連マクロファージ/ミクログリアの分極化制御によるグリオーマの増殖抑制	1,700,000	510,000
	臨床病理学講座	大江 知里	講 師	高悪性度腎細胞癌の治療薬シーズの探索	1,500,000	450,000
	精神神経科学講座	砂田 尚孝	助 教	薬効ゲノム情報に基づくレビー小体型認知症治療戦略の策定	600,000	180,000
	小児科学講座	山内 壮作	助 教	強力に複数の炎症性サイトカインを抑制する新薬・DHMEQのSLEに対する治療開発	900,000	270,000
	内科学第三講座	山口 隆志	助 教	非アルコール性脂肪性肝炎の線維化進行と肝発癌を予測する新規バイオマーカーの開発	1,500,000	450,000
	内科学第三講座	田中 敏宏	助 教	自己免疫性膵炎の発症病態や制御機構に関わるIL-35の働き	1,200,000	360,000
	内科学第一講座	吉村 英晃	助 教	レナリドミドの移植片対宿主病に及ぼす影響の解明 - 制御性T細胞を中心として -	900,000	270,000
	心臓血管外科学講座	山本 暢子	助 教	閉塞性動脈硬化症の重症化早期発見におけるPerfusion Indexの意義	900,000	270,000
	麻酔科学講座	角 千里	助 教	ミトコンドリア機能解析を基軸としたプロポフォールの細胞毒性機構の分子生物学	2,300,000	690,000
	麻酔科学講座	添田 岳宏	助 教	敗血症病態におけるセルフリーDNAの制御とマイクロRNAを用いた遺伝子治療の応用	2,300,000	690,000
	外科学講座	中竹 利知	助 教	難治性敗血症に対するセンスオリゴヌクレオチドを用いた新規核酸薬の開発研究	1,600,000	480,000
	脳神経外科学講座	岩田 亮一	助 教	脳転移開始細胞を用いた脳転移の機序解明	1,700,000	510,000
	脳神経外科学講座	山村奈津美	助 教	グリオーマの増殖を抑制する転写因子の解明	1,700,000	510,000
	腎泌尿器外科学講座	谷口 久哲	講 師	Ovol2/MOVOが精子形成過程において果たす機能とその役割の解明	1,600,000	480,000
産科学・婦人科学講座	久松 洋司	助 教	円錐切除術時に発生するsurgical smokeに含まれるHPVに関する研究	300,000	90,000	

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究 新規	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	尹 泰貴	研究員	活性化組織好酸球に発現するCD69の機能的役割の解 明	1,200,000	360,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	高田真紗美	助 教	好酸球性気道炎症におけるMIP1-βの役割と病勢マー カーとしての応用	900,000	270,000
	眼科学講座	盛 秀嗣	助 教	弾性線維欠損マウス及び網膜光凝固術を用いたポリ プ状脈絡膜血管症モデルの作成	1,000,000	300,000
	眼科学講座	嶋 千絵子	講 師	眼内虚血時における病的血管新生を防ぎつつ、生理 的血管新生を誘導する方法を検討する	1,200,000	360,000
	実験病理学講座	藤田 恭平	研究員	味覚の再生に向けた改良型味蕾オルガノイドの作製 と移植技術の開発	700,000	210,000
	医学教育センター	唐牛 祐輔	助 教	医学生の長期的学修を支えるGritの役割 — 統合 的学修過程モデルの構築	1,000,000	300,000
	基礎看護学領域	藤原 史博	講 師	組織からの退出を控えたエキスパート看護師の世 代継承性の内容と構造	1,100,000	330,000
	クリティカルケア 看護学領域	谷水 名美	講 師	肝移植レシビエントのWell-Beingを目指す継続 的看護実践モデル開発	1,200,000	360,000
	慢性疾患看護学領域	藤本 悠	助 教	離島へき地における保健師確保に関する現状と課 題	1,100,000	330,000
	老年看護学領域	金原 京子	講 師	有料老人ホームでの看取りに向けた事前意思確 認のあり方と看護の役割に関する研究	1,000,000	300,000
	健康科学教室	黒瀬 聖司	助 教	筋-脂肪組織ネットワークによる骨格筋制御の特 性を考慮した運動プログラムの開発	1,700,000	510,000
若手研究 継続	精神神経科学講座	越川 陽介	研究員	精神科医療へのフォーカシングの臨床応用に向 けた探求研究：うつ病のQOLに着目して	500,000	150,000
	解剖学講座	大江 総一	助 教	虚血応答因子としての脳由来胆汁酸の生理的意 義の解明	1,100,000	330,000
	物理学教室	栗川 知己	助 教	海馬-前頭前野間の動的な情報処理における脱 抑制の役割の解明	400,000	120,000
	精神神経科学講座	西田圭一郎	講 師	マインドフルネスへの経頭蓋直流刺激 t DCS によるオーギュメンテーション法の確立	600,000	180,000
	放射線科学講座	武川 英樹	助 教	頭頸部癌適応放射線治療の適応回数及びタイ ミングの人工知能に基づく最適化基盤の構築	1,100,000	330,000
	放射線科学講座	姉帯 優介	助 教	放射線治療計画の品質を高める包括的研究	600,000	180,000
	放射線科学講座	小野 泰之	助 教	カテーテルにコーティングされたPMEAのバイ オフィーム形成抑制効果の証明	300,000	90,000
	侵襲反応制御部門	岡本 明久	研究員	プロポフォール誘導性ミトコンドリア依存性 細胞障害のHIF-1活性化による抑制	1,000,000	300,000
	麻酔科学講座	西本 浩太	助 教	microRNAによる骨髄由来抑制細胞の制御が 及ぼす敗血症時免疫抑制病態の解明	800,000	240,000
	小児科学講座	木全 貴久	講 師	腸内細菌叢に注目した膀胱尿管逆流症例に対 する再発性尿路感染症の新規予防法の確立	1,200,000	360,000
	母性(助産)看護学領域	酒井ひろ子	教 授	農村部のネパール人妊婦と乳児のための栄 養改善プログラムの実証的評価	1,500,000	450,000
若手研究(B) 継続	放射線科学講座	丸山 拓士	助 教	難治性乳糜漏に対する胸管-下大静脈バイ パス術の基礎的研究	900,000	270,000
	麻酔科学講座	吉田 敬之	助 教	拡張現実(AR)技術を応用した麻酔穿刺針 ガイドシステムの先駆的開発研究	1,400,000	420,000
	クリティカルケア 看護学領域	山口真有美	助 教	初期・二次救急外来受診後、帰宅する高 齢者世帯患者に対する看護実践モデルの 検討	300,000	90,000
	在宅看護学領域	高橋美沙子	助 教	認知症家族支援を推進する効果的な訪問 看護とレスパイトケア施設連携の検討	300,000	90,000
	精神神経科学講座	矢山 壮	講 師	精神疾患患者のリカバーを促進するWRAP のプランの共有データベースの開発	500,000	150,000
	実験病理学講座	厚海 奈穂	助 教	2段階細胞系譜追跡法の開発を通じた腺 房細胞を起点とするがん化機構の解明	1,100,000	330,000
	リハビリテーション 医学講座	福元 喜啓	講 師	骨格筋超音波評価を用いた脳卒中者の要 介護度進行の予測	500,000	150,000
基盤研究(C) 特設分野研究	ゲノム解析部門	日笠幸一郎	学長特命 教授	多階層テンソル因子分解法を用いたオミ ックスデータ統合型関連解析手法の開 発と応用	600,000	180,000
挑戦的研究(萌芽) 継続	神経機能部門	小早川 高	学長特命 准教授	先天的恐怖誘導性生体保護モードの解 明	2,400,000	720,000
	医化学講座	小林 拓也	教 授	大腸がんに対する新規抗体医薬の開発を 目指す標的分子の同定と立体構造基盤 の構築	2,400,000	720,000

(単位：円)

平成30年度科学研究費助成事業交付決定(追加：他大学から転入の代表者) 一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付決定額		
					直接経費	間接経費	合計
基盤研究(B)	基礎看護学領域	藤本 悦子	教授	糖尿病を抱える統合性リンパ浮腫患者のケアに関する研究	2,400,000	720,000	3,120,000
	看護学教育領域	安酸 史子	教授	発達障害傾向のある看護学生への現任教育まで含めた適応支援ガイドラインの作成	2,900,000	870,000	3,770,000
	老年看護学領域	水野 敏子	教授	「独り暮らし」高齢者の在宅死を可能にする訪問看護モデルの有効性の検証	700,000	210,000	910,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	六車 恵子	教授	変性疾患における小脳・大脳神経細胞の脆弱性の解析	4,600,000	1,380,000	5,980,000
挑戦的研究(萌芽)	医化学講座	小林 拓也	教授	大腸がんに対する新規抗体医薬の開発を目指す標的分子の同定と立体構造基盤の構築	2,400,000	720,000	3,120,000
新学術領域研究(研究領域提案型)	iPS・幹細胞応用医学講座	玉田 篤史	准教授	バイオイメージング画像から構造と運動を自動解析するソフトウェアの開発	2,000,000	600,000	2,600,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	玉田 篤史	准教授	分子・細胞・組織におけるキラリテイ構造の定量解析と階層間変換原理の解明	3,900,000	1,170,000	5,070,000
若手研究	物理学教室	栗川 知己	助教	海馬-前頭前野間の動的な情報処理における脱抑制の役割の解明	1,900,000	570,000	2,470,000
	母性看護学領域	酒井ひろ子	教授	農村部のネパール人妊婦と乳児のための栄養改善プログラムの実証的評価	1,700,000	510,000	2,210,000
基盤研究(C)	看護学教育領域	太田 祐子	准教授	キャリア中期ジェネラリスト看護師の、物語としてのキャリア創出に関する研究	700,000	210,000	910,000
	心療内科学講座	川島 理恵	客員研究員	信頼関係構築に向けたプライマリ・ケア診療の会話分析の研究	900,000	270,000	1,170,000
	精神看護学領域	三木 明子	教授	在宅ケアを受ける患者・家族からの暴力・ハラスメント防止方策の構築	900,000	270,000	1,170,000
	ゲノム解析部門	日笠幸一郎	教授	疾患関連変異の探索に適した高次元型日本人ゲノム参照配列の構築	1,300,000	390,000	1,690,000
	基礎看護学領域	山下 裕紀	准教授	communionを基盤とした看護プログラムの開発	1,600,000	480,000	2,080,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	人見 浩史	教授	iPS細胞を用いた腎性貧血に対する新規治療法の開発	1,700,000	510,000	2,210,000
	ゲノム編集部門	福田 尚代	助教	細胞極性制御複合体Exocyst-Par3の機能解析と乳がん治療への応用	1,200,000	360,000	1,560,000
	慢性疾患看護学領域	青木 早苗	准教授	遺伝的リスクがある乳がん女性のセルフ・トラウンセンデンスを促進する支援モデルの構築	1,100,000	330,000	1,430,000
	在宅看護学領域	武 ユカリ	講師	訪問看護利用者、家族による暴力の危険予知訓練プログラム構築と実施効果の検討	500,000	150,000	650,000
	在宅看護学領域	李 錦純	准教授	多文化共生社会における外国人高齢者への包括的な在宅ケア支援モデルの開発	800,000	240,000	1,040,000
基盤研究(C)特設分野研究	ゲノム解析部門	三澤 計治	講師	尿酸値を対象とした遺伝要因および環境要因を交えた疾患リスク推定モデル構築の研究	1,100,000	330,000	1,430,000
	ゲノム解析部門	日笠幸一郎	学長特命教授	多階層テンソル因子分解法を用いたオミックスデータ統合型関連解析手法の開発と応用	1,100,000	330,000	1,430,000
決定額(追加分)合計					35,400,000	10,620,000	46,020,000

(単位：円)

平成30年度科学研究費助成事業(追加：分担者) 一覧(文部科学省・日本学術振興会)

研究種目等	研究分担者			研究代表者	研究課題	直接経費	間接経費	合計
基盤研究(A)	国際看護学領域	近藤 麻理	教授	千葉大学 教授 野地有子	世界をリードするインバウンド医療展開に向けた看護国際化ガイドライン	100,000	30,000	130,000
	衛生・公衆衛生学講座	甲田 勝康	研究教授	近畿大学 教授 伊木雅之	骨-疾患連関を基盤に骨折予防を健康寿命延伸に繋げる大規模コホートの長期追跡	1,000,000	300,000	1,300,000
	ゲノム解析部門	日笠幸一郎	学長特命教授	京都大学 名誉教授 小西郁生	進行・再発卵巣癌細胞のゲノム解析	100,000	30,000	130,000
基盤研究(B)	医化学講座	Pham Minh Vuong	研究員	大阪医科大学 客員教授 伊藤誠二	痒みと神経障害性搔痒の中枢性感作機構と脊髄後角の神経ネットワークに関する研究	615,000	184,500	799,500
	看護学教育領域	安酸 史子	教授	聖路加国際大学 教授 中山和弘	ヘルスリテラシーとストレス対処力の形成により生涯学び成長する介入モデルの開発	100,000	30,000	130,000
	医化学講座	井上 明俊	助教	大阪医科大学 客員教授 伊藤誠二	痒みと神経障害性搔痒の中枢性感作機構と脊髄後角の神経ネットワークに関する研究	600,000	180,000	780,000
	こども看護学領域	加藤 令子	教授	兵庫県立大学 教授 増野園恵	災害リスク管理における人々の生活と健康に関連するアウトカム指標の開発	400,000	120,000	520,000
救急医学講座	欽方 安行	教授	大阪大学 教授 嶋津岳士	地域を網羅した大規模救急患者レジストリ分析による救急医療改善の新たな試み	600,000	180,000	780,000	

研究種目等	研究分担者			研究代表者	研究課題	直接経費	間接経費	合計
基盤研究(B)	医化学講座	松村 伸治	准教授	大阪医科大学 客員教授 伊藤誠二	痒みと神経障害性掻痒の中枢性感作機構と脊髄後角の神経ネットワークに関する研究	400,000	120,000	520,000
	慢性疾患看護学領域	瀬戸奈津子	教授	大阪大学 教授 清水安子	糖尿病患者セルフケア能力測定ツールを活用した外来患者用ICT看護システムの開発	50,000	15,000	65,000
	医化学講座	西田 和彦	助教	大阪医科大学 客員教授 伊藤誠二	痒みと神経障害性掻痒の中枢性感作機構と脊髄後角の神経ネットワークに関する研究	100,000	30,000	130,000
	小児科学講座	石崎 優子	准教授	畿央大学 准教授 古川恵美	発達障害のある子どもの里親・養親を対象としたペアレント・トレーニングの開発	500,000	150,000	650,000
	心療内科学講座	川島 理恵	客員研究員	国立研究開発法人産業技術総合研究所 研究チーム長 大西正輝	救急医療現場での動線分析と会話分析の融合によるチーム医療の評価と教育効果の向上	600,000	180,000	780,000
	薬理学講座	中邨 智之	教授	京都大学 助教 野田和男	リジロキシダーゼの酵素活性化分子を標的とした線維化抑制剤の開発	500,000	150,000	650,000
	基礎看護学領域	片田 範子	教授	高知県立大学 特任教授 南裕子	地球規模課題の解決とパラダイムシフトをもたらす災害看護学の構築	300,000	90,000	390,000
基盤研究(B) 特設分野研究	心療内科学講座	川島 理恵	客員研究員	京都大学 准教授 高田明	承認をめぐる問主観性の発達に関する研究	200,000	60,000	260,000
基盤研究(C)	救急医学講座	高橋 弘毅	助教	大阪大学 助教 吉矢和久	次世代シークエンサーを用いた急性脳炎・脳症診断への新たな取り組み	100,000	30,000	130,000
	看護学教育領域	安酸 史子	教授	共立女子大学 専任講師 山住康恵	看護師の「働きがい」尺度の開発	100,000	30,000	130,000
	看護学教育領域	安酸 史子	教授	帝京平成大学 教授 北川明	ルーブリック評価を取り入れたカリキュラムとその効果に関する研究	50,000	15,000	65,000
	外科学講座	井上健太郎	准教授	滋賀医科大学 助教 山口剛	減量外科治療における効果不良因子の検討ー多施設共同調査研究	115,000	34,500	149,500
	神経内科学講座	岡田洋一郎	助教	愛媛大学 講師 越智博文	Toll様受容体を標的とした制御性B細胞誘導による多発性硬化症の新規治療法の開発	350,000	105,000	455,000
	こども看護学領域	加藤 令子	教授	常盤大学 准教授 沼口知恵子	医療を必要とする子どもの災害に備える力を高めるための支援ツール開発	600,000	180,000	780,000
	侵襲反応制御部門	広田 喜一	学長特命教授	公益財団法人 田附興風会 部長 足立健彦	血管内皮バリア機能制御におけるIFN β -1aシグナルと低酸素応答系のクロストーク	1,600,000	480,000	2,080,000
	衛生・公衆衛生学講座	甲田 勝康	研究教授	近畿大学 助教 立木隆広	下肢筋量に着目した骨折リスク評価モデルの開発 日本人男性の大規模疫学研究	100,000	30,000	130,000
	慢性疾患看護学領域	瀬戸奈津子	教授	淑徳大学 講師 松田直正	介護保険施設における糖尿病患者のアドヒアランス維持に資するケア評価尺度開発と検証	100,000	30,000	130,000
	慢性疾患看護学領域	瀬戸奈津子	教授	大分大学 准教授 脇幸子	糖尿病療養指導士と患者会の協働によるセルフケアpower upプログラムの有効性	50,000	15,000	65,000
	慢性疾患看護学領域	青木 早苗	准教授	大分大学 助教 橋本理恵子	がん患者の就労や経済的問題に対する多職種による早期スクリーニングシステムの開発	100,000	30,000	130,000
	小児科学講座	石崎 優子	准教授	滋賀大学 准教授 芦谷道子	小児聴覚処理障害に対する雑音下聴力評価及び他覚的評価の開発と心身臨床教育的支援	30,000	9,000	39,000
	医化学講座	太田 美穂	研究員	相愛大学 教授 品川英朗	MRI動画記録法を用いた口腔咽頭領域での嚥下調整食・とろみ食の流動評価	300,000	90,000	390,000
	麻酔科学講座	中嶋 康文	診療教授	京都府立医科大学 助教 中山力恒	病態解明および創薬を目標とした小児先天性心疾患患者の赤血球中microRNA解析	10,000	3,000	13,000
	麻酔科学講座	中嶋 康文	診療教授	京都府立医科大学 助教 前田祥子	2型糖尿病易感染性病態の解明と治療に向けた白血球遺伝子及びcDNAの網羅的解析	10,000	3,000	13,000
	基礎看護学領域	藤原 史博	講師	兵庫県立大学 教授 小西美和子	看護師の在宅療養支援を円滑にするための「患者の生活を見通す」能力開発モデルの構築	150,000	45,000	195,000
	基礎看護学領域	藤本 悦子	教授	福井県立大学 教授 有田広美	集中治療室で鎮痛・鎮静管理を受けた重症患者の睡眠に関する研究	100,000	30,000	130,000
	脳神経外科学講座	埜中 正博	診療教授	大阪電気通信大学 教授 渡邊郁	正規化・データベース化した病理DICOMの探索による術中患部移動変形計算について	200,000	60,000	260,000
	精神神経科学講座	木下 利彦	教授	日本福祉大学 准教授 吉野真紀	性同一性障害当事者の自己実現過程と心理的变化に関する研究	70,000	21,000	91,000
			友田 幸一	学長	滋賀大学 准教授 芦谷道子	小児聴覚処理障害に対する雑音下聴力評価及び他覚的評価の開発と心身臨床教育的支援	30,000	9,000
	在宅看護学領域	李 錦純	准教授	兵庫県立大学 教授 森菊子	慢性閉塞性肺疾患患者の増悪予防のためのセルフマネジメント促進プログラムの開発	50,000	15,000	65,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	兒島 由佳	講師	長崎大学 講師 五月女さき子	放射線多発性う蝕の発生秩序の解明と予防法に関する他施設共同ランダム化比較試験	50,000	15,000	65,000
挑戦的研究 (萌芽)	生物学教室	岡野 圭子	講師	大阪大学 教授 永井健治	ケミカル・ジュネティクスによる構成的エネルギー生成系の新創出	1,000,000	300,000	1,300,000
	精神看護学領域	三木 明子	教授	筑波大学 准教授 涌水理恵	小児医療現場で発生する患者・家族の暴力への対応強化プログラムの開発と効果の検証	300,000	90,000	390,000
挑戦的萌芽研究	精神看護学領域	三木 明子	教授	甲南女子大学 教授 友田尋子	暴力・虐待被害者に対する司法看護介入スキル向上のためのプログラム開発	40,000	12,000	52,000
	基礎看護学領域	山下 裕紀	准教授	千葉大学 教授 正木治恵	看護できる身体づくりー高齢者ケアにおける看護情報をつかむための身体活用プロセス	100,000	30,000	130,000
	国際看護学領域	山本 容子	助教	名古屋大学 学振特別研究員 谷口京子	項目反応理論に基づく途上国における基礎学力測定のためのテスト開発に関する研究	30,000	9,000	39,000
決定額(追加:分担者)合計						11,900,000	3,570,000	15,470,000

(単位:円)

厚生労働省関係

平成31年度厚生労働科学研究費補助金交付内定者(代表者)一覧

研究事業名	研究代表者			研究課題	直接経費	間接経費	合計
難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)	内科学第三講座	岡崎 和一	教授	IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	19,230,000	5,769,000	24,999,000
合 計					19,230,000	5,769,000	24,999,000

(単位：円)

平成30年度厚生労働科学研究補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)	内科学第三講座	岡崎 和一	教授	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	東邦大学 医学部 教授 鈴木 康夫	250,000
	外科学講座	濱田 吉則	名誉教授	小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患の移行期を包含し診療の質の向上に関する研究	東北大学 大学院医学系研究科 教授 仁尾 正記	160,000
	皮膚科学講座	神戸 直智	准教授	自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドラインの確立に関する研究	京都大学 大学院医学研究科 准教授 西小森 隆太	500,000
	眼科学講座	高橋 寛二	教授	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	山形大学 医学部 教授 山下 英俊	400,000
	脳神経外科学講座	埜中 正博	診療教授	網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	国立病院機構松江医療センター 院長 中島 健二	500,000
がん対策推進総合研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	高齢者のがん医療の質の向上に資する簡便で効果的な意思決定支援プログラムの開発に関する研究	国立がん研究センター 先端医療開発センター 分野長 小川 朝生	700,000
臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業	精神神経科学講座	西田圭一郎	講師	脳波・脳磁図を用いたAI解析による認知症の診断・重症度評価に関する実証研究	大阪大学 国際医工情報センター 講師 柳澤 琢史	400,000
	精神神経科学講座	吉村 琢史	講師	脳波・脳磁図を用いたAI解析による認知症の診断・重症度評価に関する実証研究	山形大学 医学部 教授 山下 英俊	400,000
合 計						3,310,000

(単位：円)

平成30年度厚生労働省その他補助金(分担者)一覧

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
慢性疼痛診療体制構築モデル事業費補助金	心療内科学講座	水野 泰之	助教	慢性疼痛診療体制構築モデル事業	大阪大学 医学部 教授 藤野 裕士	200,000
合 計						200,000

(単位：円)

その他公的研究費

平成30年度 日本医療研究開発機構(AMED)、科学技術振興機構(JST)等 委託費等採択一覧

所管組織等	事業名等	講座	氏名	職位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、研究分担者、 共同研究者等	直接経費	間接経費	合計
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	形成外科学講座	森本 尚樹	准教授	先天性巨大色素性母斑を母地とした悪性黒色腫に対する予防的低位侵襲治療法の開発~First-in-man臨床研究から先進医療へ	研究代表者	京都大学 国立循環器病研究センター 大阪工業大学	31,000,001	9,300,000	40,300,001
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	がん治療中のせん妄の発症予防を目指した多職種せん妄プログラムの開発	研究分担者	国立がん研究センター 先端医療開発センター 分野長 小川朝生	1,538,462	461,538	2,000,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	認知症合併に対応した最適の治療選択と安全性の向上を目指した支援プログラムの開発	研究分担者	国立がん研究センター 先端医療開発センター 分野長 小川朝生	769,231	230,769	1,000,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	革新的抗がんウイルス療法の実用化臨床研究	研究分担者	東京大学 医科学研究所 教授 藤堂具紀	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	外科学講座	井上 健太郎	准教授	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準治療に関する研究	研究分担者	国立がん研究センター 医員 岩佐悟	230,715	69,214	299,929
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一講座	倉田 宝保	診療教授	局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するシスプラチン+S-1同時胸部放射線治療とシスプラチン+ペメトレキセド同時胸部放射線治療の無作為化第II相試験	研究分担者	国立がん研究センター 病棟医長 仁保誠治	100,000	-	100,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一講座	倉田 宝保	診療教授	EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ単剤治療とゲフィチニブにシスプラチン+ペメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験(JCOG1404/WJOG8214L:AGAIN)	研究分担者	国立がん研究センター 副院長 大江裕一郎	400,000	120,000	520,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	内科学第一講座	倉田 宝保	診療教授	高齢者非小細胞肺癌患者に対する抗がん薬のPK/PDに基づく個別化医療研究	研究分担者	国立がん研究センター 研究所分子薬理研究分野 分野長 濱田 哲暢	300,000	90,000	390,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	臨床病理学講座	葛 幸治	教授	未来のがん診療に資する改革的技術を導入したバイオマーカー測定の有用性を評価する大規模前向き観察研究	研究分担者	国立がん研究センター 東病院 呼吸器内科 医長 松本 慎吾	350,000	105,000	455,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	脳神経外科学講座	浅井 昭雄	教授	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究	研究分担者	埼玉医科大学 教授 西川 亮	300,000	90,000	390,000
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	心療内科学講座	蓮尾 英明	助教	がん患者の難治性神経障害性疼痛へのエビデンスに基づく標準的薬物療法の開発	研究分担者	近畿大学 講師 松岡弘道	130,000	39,000	169,000
日本医療研究開発機構(AMED)	難治性疾患実用化研究事業	内科学第三講座	岡崎 和一	教授	IgG4 関連疾患の新規バイオマーカーと治療ターゲット開発に関する研究	研究分担者	京都大学 教授 三森経世	1,700,000	510,000	2,210,000
日本医療研究開発機構(AMED)	難治性疾患実用化研究事業	皮膚科学講座	神戸 直智	准教授	自己炎症性症候群Blau症候群と中條西村症候群の病態解析と新規治療標的探索	研究分担者	京都大学 iPS細胞研究所 准教授 齊藤潤	1,200,000	360,000	1,560,000
日本医療研究開発機構(AMED)	難治性疾患実用化研究事業	腎泌尿器外科学講座	松田 公志	教授	内視鏡外科手術における熟練技術追体験システムを使用したトレーニングシステムの評価	研究分担者	大阪大学 准教授 安藤英由樹	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療研究開発機構(AMED)	難治性疾患実用化研究事業	内科学第二講座	高木 雅彦	診療教授	ブルガタ症候群における心臓突然死のリスク予測モデルの構築と診療応用のための研究	研究分担者	広島大学 准教授 中野由紀子	769,231	230,769	1,000,000
日本医療研究開発機構(AMED)	医療分野研究成果展開事業 産学連携医療イノベーション創出プログラム	内科学第一講座	伊藤 量基	准教授	TLR7を標的としたSLE治療薬の開発	研究分担者	富山大学 客員教授 長井 良憲	1,500,000	450,000	1,950,000
日本医療研究開発機構(AMED)	再生医療実用化研究事業	外科学講座	海堀 昌樹	診療教授	C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変患者に対するG-CSF動員自家末梢血CD34陽性細胞の経肝動脈投与に関する臨床研究	研究分担者	久留米大学 教授 鳥村拓司	5,490,432	1,647,129	7,137,561
日本医療研究開発機構(AMED)	革新的先端研究開発支援事業 ユニットタイプ(AMED-CREST)	医化学講座	小林 拓也	教授	プロスタグランジン受容体の立体構造を基盤とした創薬開発を目指す革新的技術の創出	研究代表者		23,069,816	6,920,944	29,990,760

所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、研究分担者、 共同研究者等	直接経費	間接経費	合 計
日本医療研究開発機構 (AMED)	未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業 ニューロリハビリシステム	リハビリテーション医学講座	長谷 公隆	診療教授	未来医療を実現する先端医療機器・システムの研究開発/先端医療機器の開発/麻痺した運動や知覚の機能を回復する医療機器・システムの研究開発	研究分担者	慶應義塾大学 教授 里宇明元	7,692,308	2,307,692	10,000,000
科学技術振興機構 (JST)	戦略的創造研究推進事業 CREST	実験病理学講座	上野 博夫	教 授	多色蛍光コーディングと1細胞・in situイメージング法によるオミクスデータの検証	研究分担者	理化学研究所 ユニットリーダー 二階堂 愛	28,477,000	8,543,100	37,020,100
科学技術振興機構 (JST)	研究成果展開事業 A-step シーズ育成タイプ	神経機能部門	小早川令子	学 長 特命教授	害獣忌避剤のコントロールリリース技術の開発	研究分担者	代表機関・株式会社カネカ	12,000,000	3,600,000	15,600,000
科学技術振興機構 (JST)	研究成果展開事業 センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム COI 拠点「人間力活性化によるスーパー日本人の育成拠点」	精神神経科学講座	西田圭一郎	講 師	経頭蓋直流刺激(tDCS)による活性化	研究分担者	中核機関・大阪大学COI拠点	5,000,000	1,500,000	6,500,000
情報通信研究機構 (NICT)	高度通信・放送研究開発委託研究	リハビリテーション医学講座	長谷 公隆	診療教授	脳機能補完による高齢者・障がい者の機能回復支援技術の研究開発 副題：外骨格ロボットと脳機能ニューロフィードバックによる身体および認知・感覚運動機能のICTを活用したリハビリテーションシステムの開発	研究分担者	代表機関・株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)	4,545,455	454,545	5,000,000
京大 (AMED)補助金)	医療研究開発推進事業費補助金「橋渡し研究戦略的推進プログラム」	精神神経科学講座	西田圭一郎	講 師	高齢者特有の組織物性と環境に基づく皮膚創傷・脈管病変の診療体系の構築	研究分担者	京都大学(拠点機関)	2,230,000	-	2,230,000
国立長寿医療研究センター (NCGG)	長寿医療研究開発費	薬理学講座	中邨 智之	教 授	高齢者特有の組織物性と環境に基づく皮膚創傷・脈管病変の診療体系の構築	研究分担者	国立長寿医療研究センター 医長 磯貝 善蔵	700,000	-	700,000
国立精神・神経医療研究センター (NCNP)	精神・神経疾患研究開発費	神経内科学講座	近藤 誉之	診療教授	神経疾患における免疫病態の解明と治療法開発に関する研究	研究分担者	国立精神・神経医療研究センター 特任研究部長 山村 隆	500,000	-	500,000
合 計								131,992,651	37,629,700	169,622,351

(単位：円)

その他外部資金

平成30年度研究助成金等受贈者(採択)一覧

平成30年度に募集のあった各種助成財団による研究助成金等を下記の研究者が贈呈された。

研究助成法人・団体等	受贈者	研究課題等	助成額等
公益財団法人 武田科学振興財団 2018年度特定研究助成	実験病理学講座 上野 博夫 教授	頭頸部上皮組織の成体幹細胞同定・単一細胞RNAseqによる先端療法開発への基盤形成	50,000,000
公益財団法人 武田科学振興財団 2018年度武田科学振興財団ビジョナリーリサーチ(スタート)、医化学系研究助成	解剖学講座 田中 進 准教授	単一細胞解析による覚醒制御メカニズムの解明	1,300,000
公益財団法人 住友財団 2018年度「基礎科学研究助成」	生物学教室 岡野 圭子 講師	人工振動子と内在振動子の共役による複雑な遺伝子発現制御及びその応用	2,000,000
公益財団法人 SGH財団 第30回(2018年度)SGHがん研究助成金	呼吸器外科学講座 齊藤 朋人 講師	Invasive frontの3次元可視化と空間的病理解析による肺腺癌の浸潤機構の解明	1,000,000
公益財団法人 コスモロジー研究振興財団 第29回(2018年度)研究助成金	iPS・幹細胞再生医学講座 服部 文幸 研究教授	ヒトiPS細胞に由来する若齢および加齢様の性質を示す積層及び立体皮膚オルガノイドの作製	1,000,000
公益財団法人 臨床薬理研究復興財団 2018年度研究奨励金	外科学講座 中竹 利知 助教	肝細胞癌に対するウイルス療法の臨床応用研究	2,000,000
公益財団法人 神澤医学研究振興財団 平成30年度研究助成	ゲノム編集部門 徳弘 圭造 学長特命准教授	多精子受精阻害機構関連因子の網羅的固定	15,000,000

研究助成法人・団体等	受贈者	研究課題等	助成額等
公益財団法人 ノバルティス科学振興財団 第32回(平成30年度)研究奨励金	iPS・幹細胞応用医学講座 六車 恵子 教授	複雑系脳オルガノイドによるヒト脳発生の解明と中枢神経疾患への応用	1,000,000
公益財団法人 コニカミノルタ科学技術振興財団	実験病理学講座 厚海 奈穂 助教	蛍光特性を活かした次世代の細胞系譜追跡法の開発を通して、幹細胞による組織の構築・再生過程を可視化する	1,000,000
公益財団法人 大阪コミュニティ財団	細胞機能部門 林 美樹夫 講師	根治治療の開発に向けたがん幹細胞を標的にする新薬の創出	500,000
公益財団法人 日本女医会 第39回日本女医会学術研究助成 山崎倫子賞	形成外科学講座 覚道 奈津子 講師	塩基性線維芽細胞増殖因子(bFGF)と細胞増殖因子保持型人工真皮を用いた脂肪再生療法の開発	500,000
一般社団法人 日本損害保険協会	救急医学講座 中村 文子 助教	ショックを伴う外傷後に発生する腸管虚血症に対するPDEの使用、PDEを用いた腸管損傷に対する虚血範囲の同定方法の確立	1,000,000
公益財団法人 大阪腎臓バンク	腎泌尿器外科学 松崎 和炯 助教	ミトコンドリア機能からみた腎移植レシピエントにおけるサルコペニアや運動機能評価に関する研究	100,000
公益財団法人 金原一郎記念医学医療振興財団	細胞機能部門 林 美樹夫 講師	根治療法の開発に向けたグリオーマ幹細胞の浸潤メカニズムの解明	500,000
公益財団法人 小柳財団	医化学講座 小林 拓也 教授	理論的予測法の汎用性を実証するためのGPCRのX線結晶構造解析	1,000,000
公益財団法人 中谷医工計測技術研究財団 調査研究助成	内科学第二講座 松村光一郎 講師	慢性透析患者における血管内溶血の病態的意義	3,000,000
公益財団法人 笹川保健財団	心療内科学講座 蓮尾 英明 助教	在宅緩和ケアにおける筋膜性疼痛に対する非侵襲的局所療法の有効性についての多施設無作為比較試験	1,680,000
公益財団法人 喫煙科学研究財団 2019年度喫煙科学研究財団助成研究	産科学婦人科学 岡田 英孝 教授	妊娠成立に向けたヒト子宮内膜機能に及ぼす喫煙の影響	2,000,000
公益財団法人 喫煙科学研究財団 2019年度喫煙科学研究財団助成研究	内科学第二講座 豊田 長興 教授	ヒト膵β細胞からのインスリン分泌に及ぼすニコチン及び甲状腺ホルモンの影響に関する検討	2,000,000
国立大学法人 徳島大学 平成30年度徳島大学先端酵素学研究所 「共同利用・共同研究」	分子遺伝学部門 木梨 達雄 教授	ヒトおよびマウス胸腺細胞との相互作用による胸腺上皮細胞の成熟過程の解析	-

徳弘圭造学長特命准教授が文部科学大臣表彰を受賞

平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において、附属生命医学研究所ゲノム編集部門徳弘圭造学長特命准教授が若手科学者賞を受賞しました。

文部科学省では、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を取めた人を対象に大臣表彰を行っています。今回、徳弘学長特命准教授は「受精から初期発生における透明帯の役割に関する研究」の研究業績が認められ、表彰を受けるに至りました。

徳弘学長特命准教授は、従来十分に明らかとなっていなかった哺乳類の精子と卵子の結合機構を解明し、受精前後における卵子透明帯への精子の結合・通過制御メカニズムの一端を解明しました。その研究は、受精メカニズムの全容解明のみならず、受精しやすい環境を作りだせる新しい治療・診断薬や人為的に受精を抑制できる避妊薬の開発に繋がることが期待されています。

なお、研究成果をまとめた論文が、2018年8月16日(木)午前11時(日本時間8月17日(金)午前0時)付で、米国学術雑誌「Developmental Cell」に掲載されました。

附属病院

歯科・口腔外科拡大、アレルギーセンター外来開設

3月27日(水)附属病院歯科・口腔外科の外来が3階から2階へ移設・拡充しました。診察室は4室から8室に増え、周術期口腔管理において今まで人員やチェアの台数不足により対応できなかった患者さんを、多数受け入れることができるようになりました。また新たに周術期担当の歯科医師や歯科衛生士を配置することで、周術期口腔管理の患者さん一人ひとりにより丁寧な対応が可能となりました。

また、4月1日(月)には附属病院に新たにアレルギーセンター外来が開設されました。これにより原因不明のアレルギー症状なども一元的に診察し、最適な診療科に紹介する体制が確立。当外来にはアレルギー専門医が平日午前中一人以上常駐し、アレルギーが疑われる患者さんの紹介も受け付けています。外来の設置により、アレルギー疾患に関して今までよりもよりの確かな判断ができる体制が整いました。

附属病院

「2019年度救急フォーラム」開催

4月24日(水)18時から附属病院13階講堂において、循環器内科による北河内二次医療圏内の全消防機関の救急隊員を対象とした「救急フォーラム」が開催され、約50名の救急隊員が参加しました。

今回は、循環器内科だけでなく救急医学科も共同講演を行うことで、救急隊員にとってより広く救急現場で活用できる知識・技能を提供できる内容となりました。

附属病院循環器内科塩島一朗教授の司会で進行し、ハートセンター川副浩平センター長の開会挨拶の後、附属病院救急医学科池側均学長特命准教授が「本邦における病院前救急診療について～枚方寝屋川ドクターカー活動をふまえて～」と題して、続いて附属病院循環器内科藤井健一病院講師が「実症例から学ぶモニター心電図読影のポイント」と題して講演しました。

フォーラム終了後は医師と救急隊員との意見交換会も

行われ、救急隊員からは「ドクターカーは実際に自分たちが関わっている事業だけに興味があり、採り上げて頂き嬉しかった。」「難しい心電図の読み方を分かり易く、丁寧に説明して頂いて大変有難く参考になった。」などの感想が多数寄せられ、医師と救急隊員がともに地域医療に貢献していくことを確認し合いました。



開会挨拶を行う川副センター長

香里病院

香里病院市民公開講座開催

5月18日(土)14時から、アルカスホール(寝屋川市立地域交流センター・寝屋川市)において“もっと知りたい！腎臓のこと”をテーマに「香里病院市民公開講座」が開催され、寝屋川市民の皆様を中心に210名が来場されました。

この日は、神崎秀陽香里病院長の挨拶後、埴本慎眼科部長が座長を務め、高橋延行腎臓病センター長の「腎臓のことを気にしたことはありますか?」、小糸悠也腎泌尿器外科医長の「泌尿器疾患と腎臓食」の2題の講演を行いました。

講演後の質疑応答コーナーでは、参加者から多くの質問が寄せられる等、講演テーマに対して関心の高さが感じられました。



講演する高橋腎臓病センター長(左)と、座長の埴本部長(右)

附属看護専門学校戴帽式



牛嶋百合子教務部長より聖火を授かる戴帽生

5月10日(金)10時から枚方学舎医学部棟加多乃講堂において、附属看護専門学校第39期生の戴帽式が行われました。学生の保護者ほか多くの臨席者が見守るなか、臨地実習を控えた57名の学生に、ナースキャップとナイチンゲールの精神を象徴する聖火が授けられました。

楠本健司学校長の式辞に続き、来賓の山下敏夫理事長、附属病院澤田敏病院長、安田照美統括看護部長から戴帽生へ、それぞれ激励の言葉が贈られました。

学校長式辞

39期生57名のみなさん、戴帽式を迎えられ誠にありがとうございます。本日までご出席いただきました保護者やご家族の皆様方、ようこそお出でいただきました。先ほどの厳粛なセレモニーをご覧になり、1年余り前には高校生であったご子弟が、立派に看護師への歩みを進められている成長を目の当たりにされたことと思います。心よりお慶びを申し上げます。併せまして、ご来賓の皆さまには、平素よりご支援いただいておりますとともに、ご多忙中戴帽生のためにご臨席を賜りましたこと、教職員を代表して心より御礼を申し上げます。

戴帽式とは、古くは患者さんのお世話をしていた修道女たちが茨の冠を頭に被ってその治癒を祈ったことに由来し、ナイチンゲールの時代には、着衣式として行われていたと聞いています。現在、看護の現場では衛生の観点からナースキャップは使われていないのですが、戴帽式は看護師になるという志を改めて認識する意義深い機会であり、ナースキャップは看護師のシンボルと言えます。今日は5月10日、明後日は皆さんが敬愛するナイチンゲールが1820年5月12日に生まれた生誕の日です。この5月12日は「看護の日」と制定され、この1週間を「看護週間」と名付けられ、看護のことや今後のみなさんが看護師になることなどを考える良い機会でもあります。丁度、皆さん方が臨床の実習を始める時期と近いことから、例年この時期に戴帽式の開催になっています。

看護師に求められることは、すでにみなさんが授業で学

んだように看護や医療に必要な多くの知識を得ること、そして患者さんへの看護を心地よくかつスムーズに行える技術を身につけること、そして赤ん坊から高齢者までの多様な患者さんとのコミュニケーション能力を養うことです。この戴帽式に当たり今後さらに看護の現場に実習に出るみなさんに私から3つのことを伝えておきたいと思います。一つはコミュニケーションの中で最も重要なことばのことです。患者さんへの言葉かけは、同級生や教員と話すこととも異なり、極めて重要です。時に思わず患者さんを傷つけたり、不快にさせてしまうこともあります。言葉づかいは慎重に十分気を付けてください。二つ目は、身だしなみをきっちりすることです。華美にならないように清潔な印象のよい身だしなみに心がけましょう。三つ目は、皆さんは看護学生でありまだ一人前の看護師ではありません。看護の現場で分からないことが多々生じてきます。そのような時には必ず教員や先輩看護師、医師に相談してください。

今回の39期生のみなさんは、歴史と伝統ある関西医科大学附属看護専門学校の5000名に迫る卒業生の最後の学年の学生です。本日までご出席いただいている保護者やご家族、ご来賓の皆さま、教職員全員がみなさんの看護学生、看護師としての成長を大いに期待しています。みなさんが今後一層勉学や実習に励み、「看護の心」を患者さんに届けることができる立派な看護師になってもらうことを心より願っています。勉学や実習に頑張ってください。みなさん、今日は戴帽式を迎えられ誠にありがとうございました。

初期臨床研修合同説明会『研修医と語ろう会』を実施

5月18日(土)15時から附属病院13階講堂において、2020年度採用初期臨床研修医募集のための合同説明会が行われました。

冒頭、卒後臨床研修センター金子一成センター長(小児科学講座教授)から本学の臨床研修モデル、募集定員やスケジュールなどについて説明がありました。続いて、本学で研修中の研修医から、自身の研修体験談や普段の日常生活を踏まえた説明があり、参加した学生からは「研修医の先生方から色々な話を聞くことができ、より一層、関西医科大学病院に興味を持った」との感想が聞かれました。その後、会場を同院13階レストラン「のぞみ」に移し、同日開催の専攻医研修説明会参加者および指導医も交えての情報交換会を開催、会は終始盛り上がりを見せていました。



初期臨床研修合同説明会の様子

専攻医研修説明会(第1回)を実施

5月18日(土)15時から附属病院13階合同カンファレンスルームにおいて、2020年度採用専攻医研修説明会(第1回)が開催されました。当日は本学で研修中の1年次研修医8名、2年次研修医17名、他病院研修中の研修医6名の計31名が参加しました。友田幸一学長の挨拶の後、卒後臨床研修センター岡田英孝副センター長(産科学・婦人科学講座教授)から、新専門医制度について説明がありました。引き続き、18プログラム47名の指導医がブースに分かれて各プログラムの説明にあたり、16時30分からは会場を同院13階レストラン「のぞみ」に移し、同日開催の初期臨床研修合同説明会の参加者とともに、情報交換会が開催されました。



専門研修合同説明会の様子

◆小林陽之助名誉教授叙勲◆

小林陽之助名誉教授(小児科学講座前主任教授)が、永年の教育研究に対する功労を称えられ、2019年春の叙勲で瑞宝小綬章を受賞しました。

なお、勲章は国家又は公共に対し功労のある者を広く対象に授与されるもので、瑞宝章は、国及び地方公共団体の公務又は公共的な業務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた者を表彰する場合に授与されます。

整形外科科学講座小谷善久講師がSociety for Minimally Invasive Spine Surgery (SMISS、米国低侵襲脊椎外科学会)において、アジア人初となるインターナショナルディレクターに就任しました。



学会主催報告

2019年4月～6月、本学が主催および事務局を務めた主な学会を紹介します。

第54回日本小児腎臓病学会学術集会

■会期 2019年6月7-8日 ■場所 大阪国際会議場

第54回日本小児腎臓病学会学術集会を6月7日から金子一成教授が会長となり2日間開催しました。メインテーマである「ガイドライン医療のその先へ」に即したシンポジウム、ワークショップをプログラムに組みました。また、海外から2名の特別講演の演者を招請しました。1日目は大阪市内に大雨警報が出る悪天候でありましたが、参加者は最終的に過去5年間で最高の708名となりました。

【会長：小児科学講座教授 金子一成 テーマ：ガイドライン医療のその先へ】



学会賞等受賞情報

2019年4月～6月の学会賞受賞者を紹介します。

第3回 公益社団法人日本女医会学術研究助成 山崎倫子賞

形成外科学講座 覚道 奈津子 講師

■テーマ 塩基性線維芽細胞増殖因子(bFGF)と細胞増殖因子保持型人工真皮を用いた脂肪再生療法の開発

■授与学会 公益社団法人日本女医会



2019 JSSM Travel Grant

腎泌尿器外科学講座 谷口 久哲 講師

■テーマ A Critical Analysis of Utility of Low-Intensity Shockwave Therapy for Erectile Dysfunction: Study Methodological Challenges and Limitations

■授与学会 第17回アジアパシフィック性機能学会



Travel Grant

外科学講座 坂口 達馬 助教

■テーマ "Clinicopathological characteristics of pancreatic ductal adenocarcinoma with invasive micropapillary carcinoma component with emphasis on the usefulness of PKC ζ immunostaining for detection of reverse polarity"

■授与学会 HBP Surgery Week 2019



Best Presentation Award for Poster Presentation

外科学講座 山木 壮 助教

■テーマ Risk classification in patients with resectable pancreatic ductal adenocarcinoma who underwent margin-negative resection.

■授与学会 HBP surgery week 2019



2018年度がん研究奨励金受賞

外科学講座 中竹 利知 助教

■テーマ 抗腫瘍免疫賦活機能を付加した癌特異的複製型HSV-1による肝細胞癌への治療開発

■授与学会 公益財団法人大阪対がん協会



研究奨励賞

腎泌尿器外科学講座 滝澤 奈恵 助教

■テーマ Involvement of DHH and GLII in adrenocortical autograft regeneration in rats

■授与学会 第31回日本内分泌外科学会総会



若手奨励賞(基礎)

麻酔科学講座 角 千里 助教

■テーマ プロポフォルはミトコンドリアの電子伝達系を介して代謝を解糖系にシフトさせ細胞死を誘導する

■授与学会 日本麻酔科学会第66回学術集会



関西医科大学広報vol.45(2019年6月28日発行)、P8掲載「平成31年度入職式」記載内容に誤りがありました。
(誤)森岡平太 → (正)森岡平大 お詫びして訂正申し上げます。



教職員メディア情報

新聞・雑誌などの取材を受け記事が掲載された、あるいはテレビ・ラジオなどに出演した教職員ほかを紹介しします。

(主に2019年4月1日～6月30日 ※判明のみ)

総合医療センター 眼科 西村 哲哉 診療部長	新潟日報他 (4月1日)	働き盛りの中年に多く、視力の低下や物がゆがんで見えるなどの症状を生じる「中心性漿液(しょうえき)性脈絡網膜症」について、その詳細や治療法を解説した記事が掲載されました。
外科学講座 井上 健太郎 准教授	日本経済新聞 朝刊 (4月8日)	肥満症治療の肥満減量手術を取り上げた記事に井上准教授のコメントが掲載され、附属病院では患者さんに手術前後の注意点などが書かれた冊子を配布していることが紹介されました。
内科学第三講座 岡崎 和一 教授	朝日新聞 朝刊 (5月8日)	読者の病気になる質問に答える連載企画「どうしました」に登場し、MRI検査で脾臓に「のう胞」が発見された例について、のう胞の解説やがんになる可能性、経過観察の頻度などについて回答しました。
関西医科大学	読売新聞 夕刊 (5月21日)	今年6月から開講される、結婚や出産・育児などで離職した看護師向け復職支援事業「関医・看護師リカレントスクール」が写真付きで紹介され、金子一成理事(小児科学講座教授)のコメントが掲載されました。
小児科学講座 石崎 優子 准教授	毎日新聞 朝刊 (5月30日)	虐待などを理由とした子どもの社会的入院調査が取り上げられ、コメントが掲載されました。
放射線科学講座 米虫 敦 講師	読売新聞 朝刊 (5月30日)	医療従事者の被曝に関する記事で取材を受け、知識不足から被曝対策が疎かになっている現状を論評したコメントが掲載されました。
外科学講座 土井 崇 診療教授	NHK「ニュースはっと関西」 (6月5日)	附属病院で行われた全国で初めての8K内視鏡を用いた小児外科手術が取り上げられ、従来の2K映像との違いや8K画像が患者さんの治療にもたらす効果についてコメントが放映されました。
看護学部 山本 大祐 助教	神戸新聞 朝刊 (6月9日)	アドバイザーを務める、訪問看護ステーション連絡協議会の研修会が兵庫県但馬地区で開かれたこと、及び同助教が「当事者家族の声から考える在宅ひとり支援」と題して講演した様子が紹介されました。
外科学講座 里井 壯平 診療教授	朝日放送「キャスト-CAST-」・毎日放送「ミント!」・ 関西テレビ放送「報道ランナー」 (6月10日) NHK「おはよう関西」・毎日放送「ミント!」 (6月11日) 読売新聞・朝日新聞・毎日新聞朝刊、他 (6月11日)	腹膜に癌が転移した患者さんに対して腹膜の中に抗がん剤を直接投与する新治療法の、将来的な保険適用を目指した臨床試験実施のためのクラウドファンディングを行うことと、その記者会見の様子が放送されました。
外科学講座 里井 壯平 診療教授	NHK「ニュースはっと関西」・毎日放送「ミント!」 (6月12日) 読売新聞・朝日新聞・毎日新聞・ 産経新聞朝刊、日経新聞夕刊他 (6月13日)	癌がんの新治療法の臨床試験実施のためのクラウドファンディングを開始したところ、わずか2日で600人以上から目標額の1,000万円を超える寄付があり目標額に届いたことが取り上げられました。
外科学講座 里井 壯平 診療教授	業事日報 (6月17日)	里井診療教授らが実施するクラウドファンディングで、募集2日目で目標金額に達したため、さらに目標を引き上げて募集を継続していることが紹介されました。
外科学講座 里井 壯平 診療教授	日刊ゲンダイ (6月17日)	里井診療教授らが取り組む癌がんの新たな治療法の概要と、その臨床試験実施のためにクラウドファンディングを利用したことが、連載コラム「DR中川のみんなで越えるがんの壁」で取り上げられました。
関西医科大学	業事日報 (6月19日)	本学が中心となり、北河内医療圏の12法人・個人が参加して設立された地域医療連携推進法人「北河内メディカルネットワーク」について、設立の目的や具体的な連携事業、今後の展開の概要などが掲載されました。
外科学講座 里井 壯平 診療教授	産経新聞 夕刊 (6月20日)	里井診療教授らが実施したクラウドファンディングについて、連載コラム「淡町365」内で紹介されました。
外科学講座 里井 壯平 診療教授	毎日新聞 夕刊(東京版) (6月21日)	里井診療教授らが実施した癌がんの治療費用を集めるためのクラウドファンディングについて、連載コラム「憂楽帳」において取り上げられました。
国際交流センター 鈴鹿 有子 学長特命教授	CBCラジオ「多田しげおの気分爽快!朝からP・O・N」 (6月25日)	鈴鹿学長特命教授(附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科学長特命教授)が「耳の中にできる水虫について取り上げられた回に登場し、耳の中に水虫ができる原因や予防法などについて解説しました。
外科学講座 里井 壯平 診療教授	毎日新聞 夕刊 (6月25日)	里井診療教授らが実施した癌がんの治療費用を集めるためのクラウドファンディングについて、連載コラム「憂楽帳」で取り上げられました。
腎泌尿器外科学講座 松田 公志 教授	読売新聞 朝刊 (6月28日)	連載企画「医の現場」において附属病院で導入されている手術支援ロボット・ダヴィンチが取り上げられ、松田教授の「操作を習得しやすく術後の合併症も起きにくい」などのコメントが掲載されたほか、実際に操作を体験した記者の体験談などが掲載されました。

※このコーナーは主要な放送局、新聞、雑誌の掲載情報が対象ですが、研究成果に関する記事は、その限りではありません。

編集後記

ようやく暑さも和らぎ、セミの声も静かになってきました。「セミの寿命は7日間」との俗説が長く言われてきたようですが、岡山県の高校生が独自に調査を行い、セミが実際には1か月ほど生きていることを証明したそうです。当たり前と思われていることを疑ってみたことが新発見につながった事例が、大変印象的でした。この『広報』でも、常に新鮮な視点を忘れず、関西医科大学の“今”を鮮やかに伝えたいよう努めてまいります。(さ)

関西医科大学広報 Vol.46

発行 学校法人 関西医科大学

編集 広報戦略室

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1 TEL 072-804-0101(代表)

FAX 072-804-2638

http://www.kmu.ac.jp/

E-mail : kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

2019年9月30日(月)発行